



ナリカエ ナリカ

♂ → ♀

なんでオレ♂がサキュバス♀に!?
男子校ではじめる搾精♀又墮ち生活♥

♂

元男♂

全寮制男子校

これほど
絶望的な言葉が
あるだろうか

人里離れた
場所にある
時代遅れの監獄

ここには何も無い
娯楽も青春も
女子高生との
出会いも…

あるのは
厳しい上下関係と
むさくるしい男どもと
退屈な毎日だ

だからオレは…
『崎原 ナリカ』は
少しおかしく
なっていたんだと思う

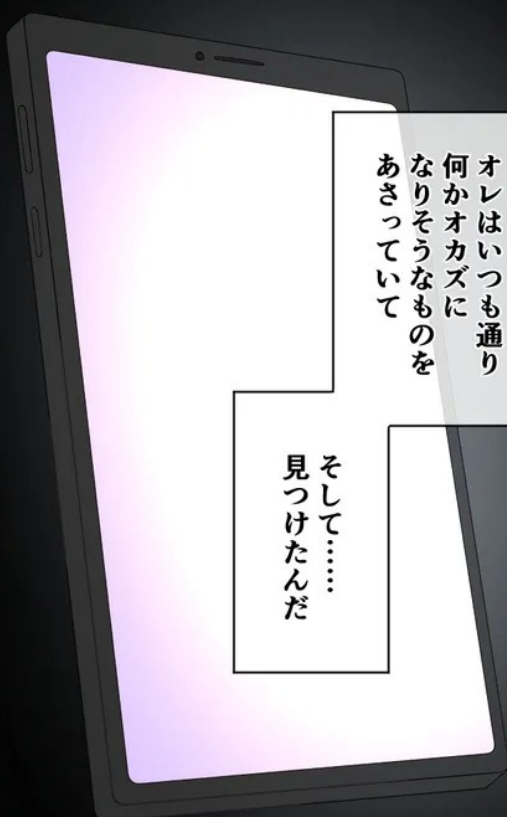
きっかけは
あるスマホアプリ
だった

本当は校則で
スマホ禁止だが
守ってるヤツなんて
いやしない

オレはいつも通り
何かオカズに
なりそうなものを
あさっていて

そして……
見つけたんだ

サキュバスを
呼び出して
エッチなことが
できるアプリ





そんな
ウソくさすぎるもの
普段なら冗談でも
手を出さなかった
だろう

だからオレは
少しおかしく
なっていたんだ

そんな
ウソくさすぎるもの
普段なら冗談でも
手を出さなかった
だろう

だからオレは
少しおかしく
なっていたんだ



皆が寝静まった
深夜0時…
アプリを起動して…

そして……



このツノ?に
尻尾……
それにこの格好……

これって……
サキユバスって
ことなんだよな……?

で……こうなった
ワケなんだが……

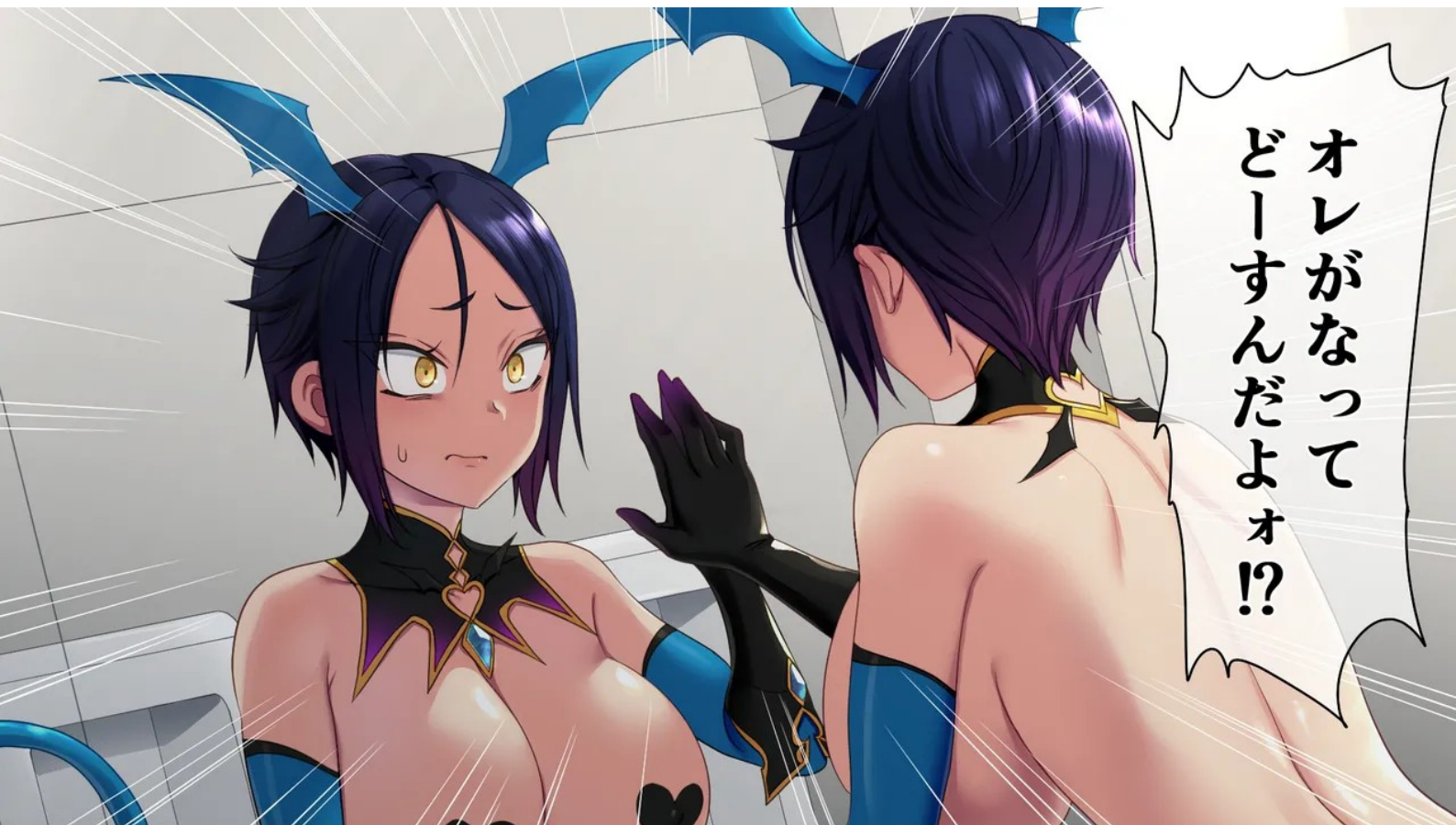
アプリを
起動した直後
体に異変を覚えた
オレは寮のトイレに
駆け込んだ

鏡に映ったのは
まぎれもなく
サキユバス……

になった
オレだった







オレがなって
どーすんだよオ!?



元男♂

ナリカエ ♂→♀ ナリカ

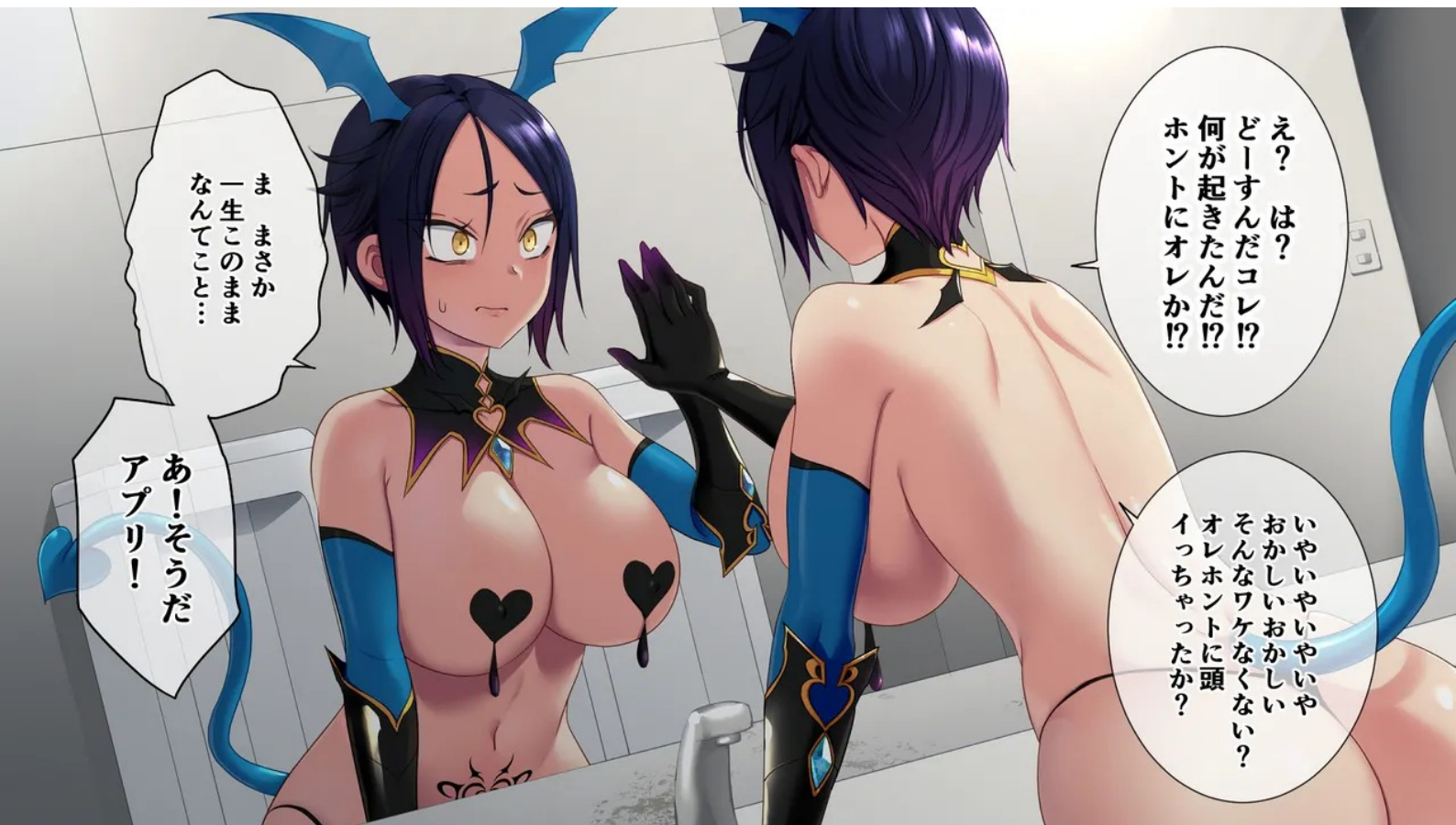
なんでオレがサキュバス♀に?
男子校ではじめる搾精♀又墮ち生活♥

え？ は？
どーすんだコレ!!
何が起きたんだ!!
ホントにオレか!!

いやいやいやいや
おかしいおかしい
そんなワケなくない?
オレホントに頭
イっちゃったか?

ま まるか
一生このまま
なんてこと...

あ! そうだ
アプリ!



そのまま
持ってきていた
スマホを慌てて
開いたが

アプリの姿は
どこを探しても
見当たらなかった

ストアの履歴も
何もかも
はじめからなかった
かのよう





.....?

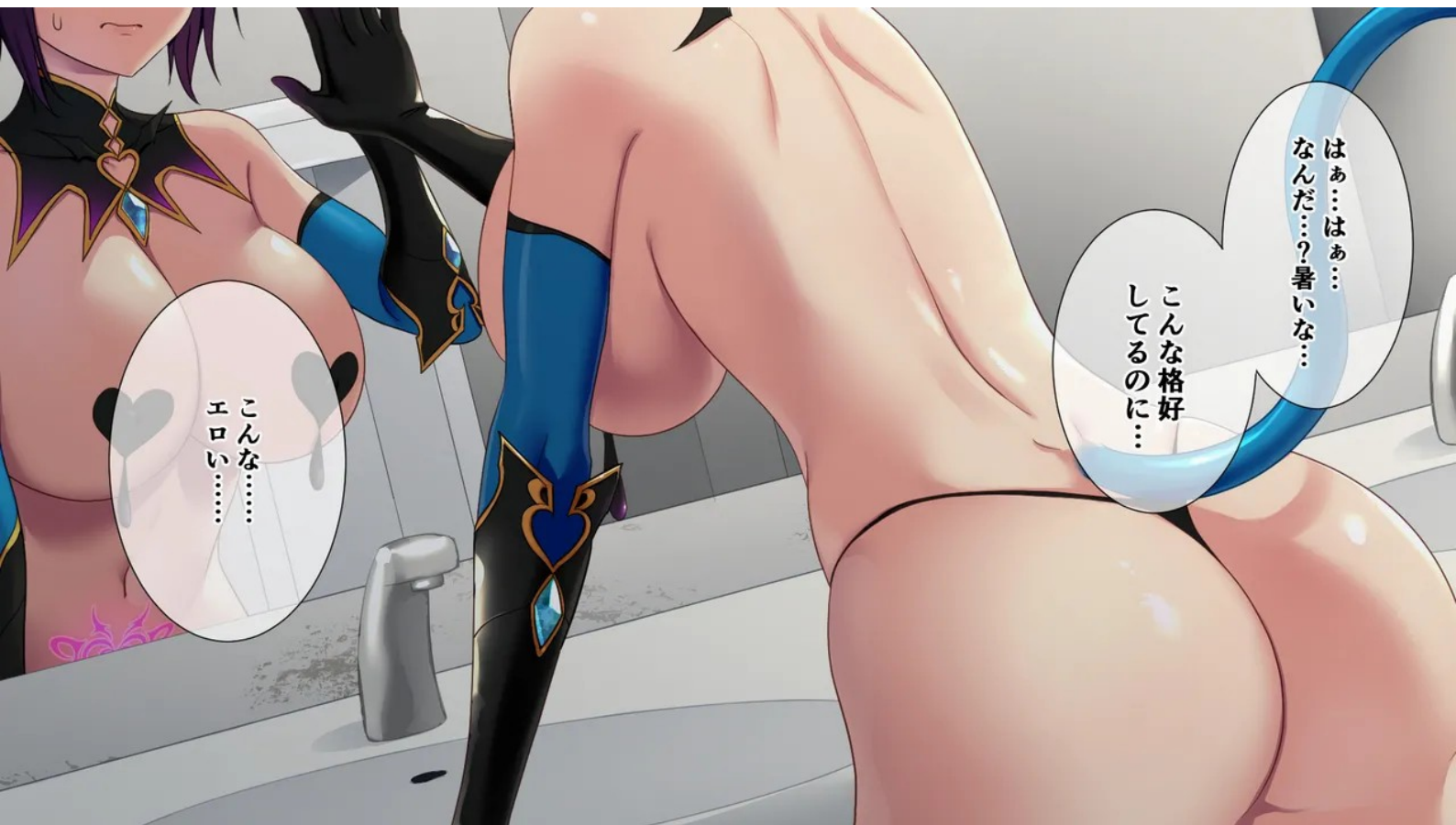
なんだ.....?
この模様みたいなの...
さっきもこんな
光ってたっけ...?

オレは
パニックした頭で
もう一度
鏡に視線を戻した



こんな格好
してゐるのに...

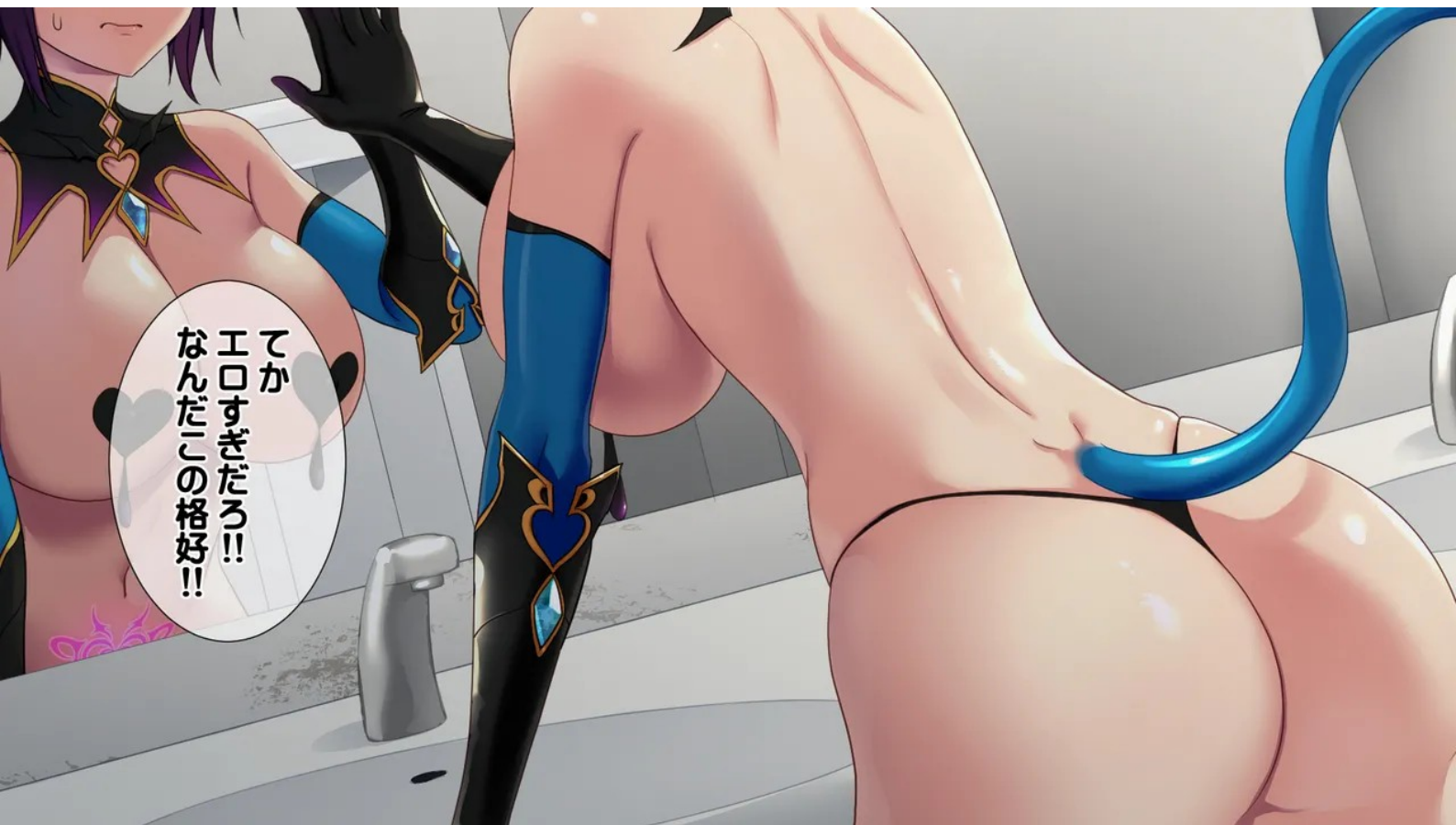
はあ...はあ...
なんだ...?暑いな...



はあ…はあ…
なんだ…?暑いな…

こんな格好
してるのに…

こんな…
エロい…



てか
エロすぎだろ!!
なんだこの格好!!

今さら気づいたけど
このカラダ…
すげえエロくね!?

おっばい
でかいし
丸出しだし…
ケツも…

本物…ホンモノの
女のカラダ…



こんなでかい乳
リアルじゃ見たことも
ねえのに…
好きにして…
いいんだよな…

自分の胸もむなんて
ヘンな感じだけど…
お おおお…

はあ…はあ…
い…いいよな？
さわっても…
自分のなんだし…

わが

わが

わが



すげえ
こんなに
柔らかいのか...っ!

おおおおお...
これは...!

たが

たが

たが

ん

ん



はあ...はあ...
カラダ...あちい...
なんか...でも...
きもちよく...
なって...きた...

むにゅ

むにゅ

むにゅ

むにゅ

このグローブ
みたいなのも
すべすべしてて...
シルク?みたいな



んあっ…!!
なんだ…?
水…?
なにか…漏らした?

はあ

はあ

はあ



どうなってる...?
自分のだと...
よく見えんけど...

あ...愛液って
ヤツ?
うわ...どんだん
垂れてくる...

とろお♡

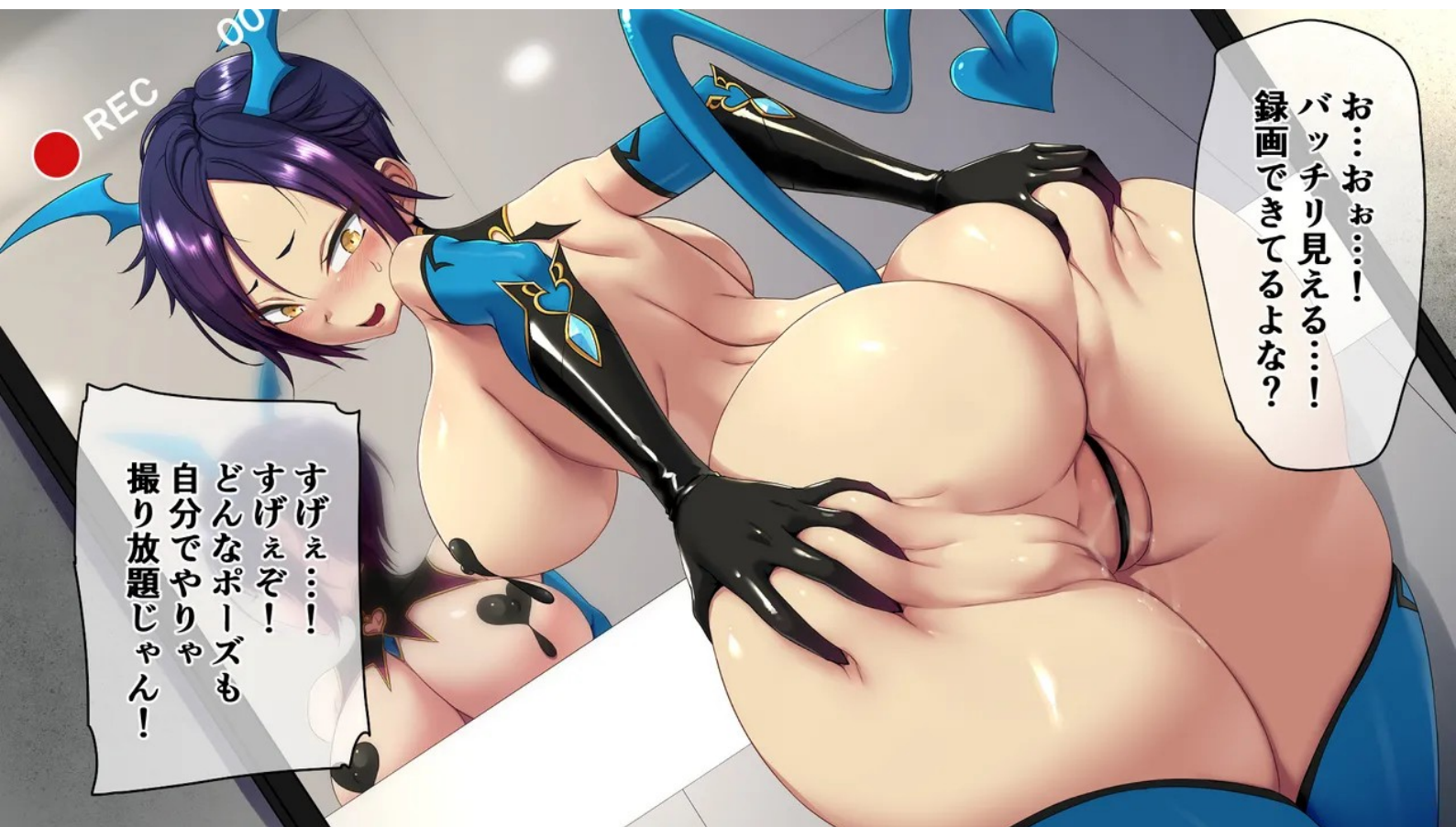


クソ...!
普段なら
自分のケツなんか
見たくもないけど
なんとかして...

どきどき

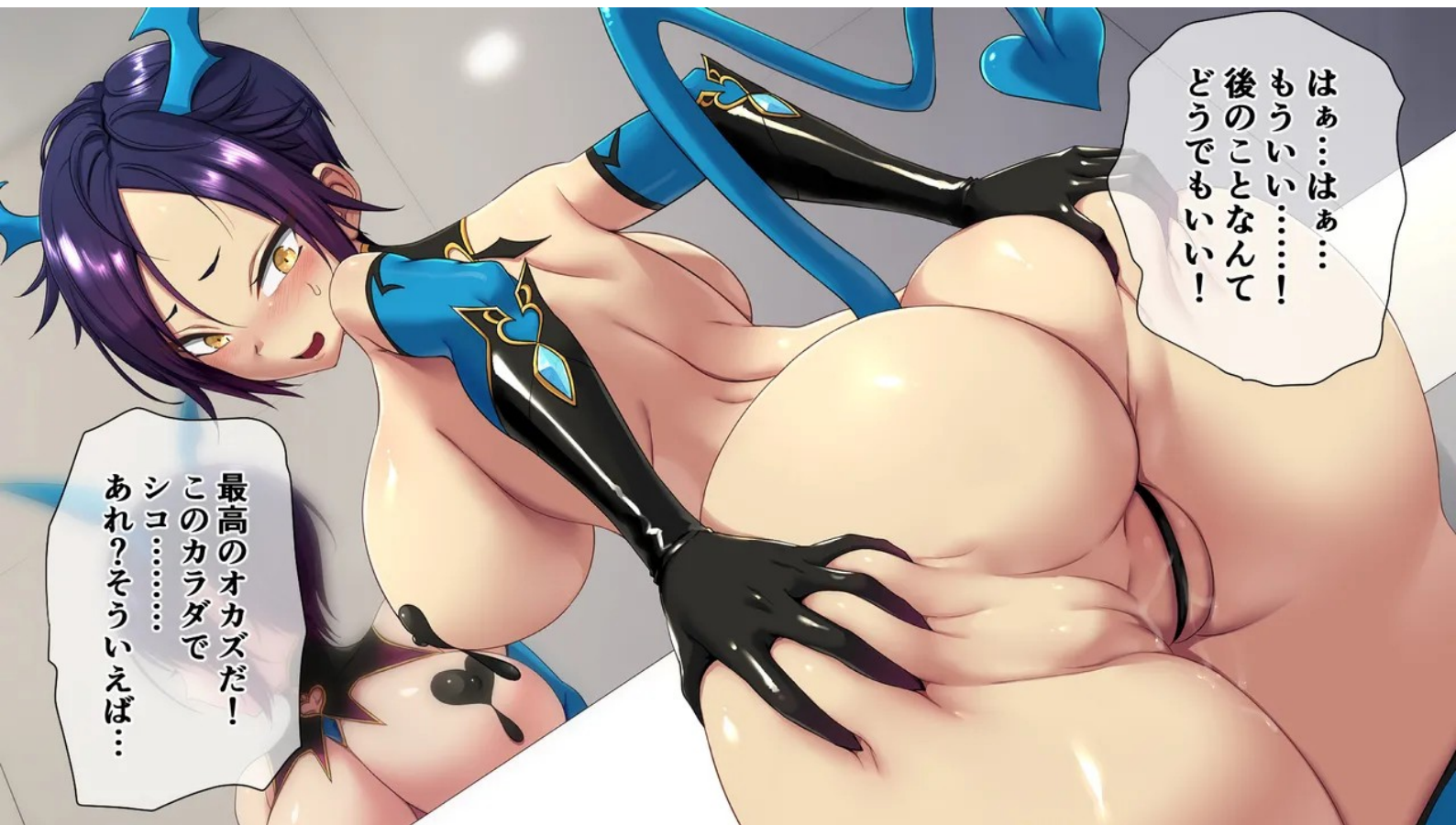
どき

そうだ!
スマホで撮りゃ
いいじゃん!
こうして...
こう...
こう...



お...おお...!!
バッチリ見える...!!
録画できてるよな?

すげえ...!!
すげえぞ!!
どんなポーズも
自分でやりや
撮り放題じゃん!



はあ…はあ…
もういい…!!
後のことなんて
どうでもいい!

最高のオカズだ!
このカラダで
シユ……………
あれ?そっういえば…



な…ないっ!!
いや あるっ!
ナニがなくて
アレがある……!!

なんかおかしいと
思っただ…
いつもならギンギンに
なってるハズなのに…

けど…コレ…
マ○コだよな…?
うっわあ…
ぐちよぐちよじゃん

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

00

REC





こんな風になつてんのか
ホンモノは…
ごくっ…

よおし…
さわるぞ…
さわるぞお…

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ





な…ん…だ今の
ビリって…
ちよつと触った
だけなのに

も…もう一回…

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ



ここ…
ここだ…
この…真ん中の…

ひぐっ!!
これ…ヤバ…!
チ○コより感じるかも…っ
くっ…んんっ…
んふあ…くうっ…ん♥

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ



この…甘ったるい匂いも…
オレから出てる…? ?
発情した…**メス**の匂い…
オレが…オレが…

つか…このエロ声…
完全に女じゃん
すっげえ変な感じ…

ふん♡

んま♡

あん♡

ん♡

ん♡

じ♡ち♡

じ♡ち♡

し♡ち♡



あぁっ…もう
わかんねえっ！
わかんねえけど…
イキそう…
イキたいっ…
♡

はぁ…♡はぁ…っ♡
イキたいのに…っ
イケそうなのに…っ
あとちよっとのハズ
なのに…なんで…っ！

ふん♡

んま♡

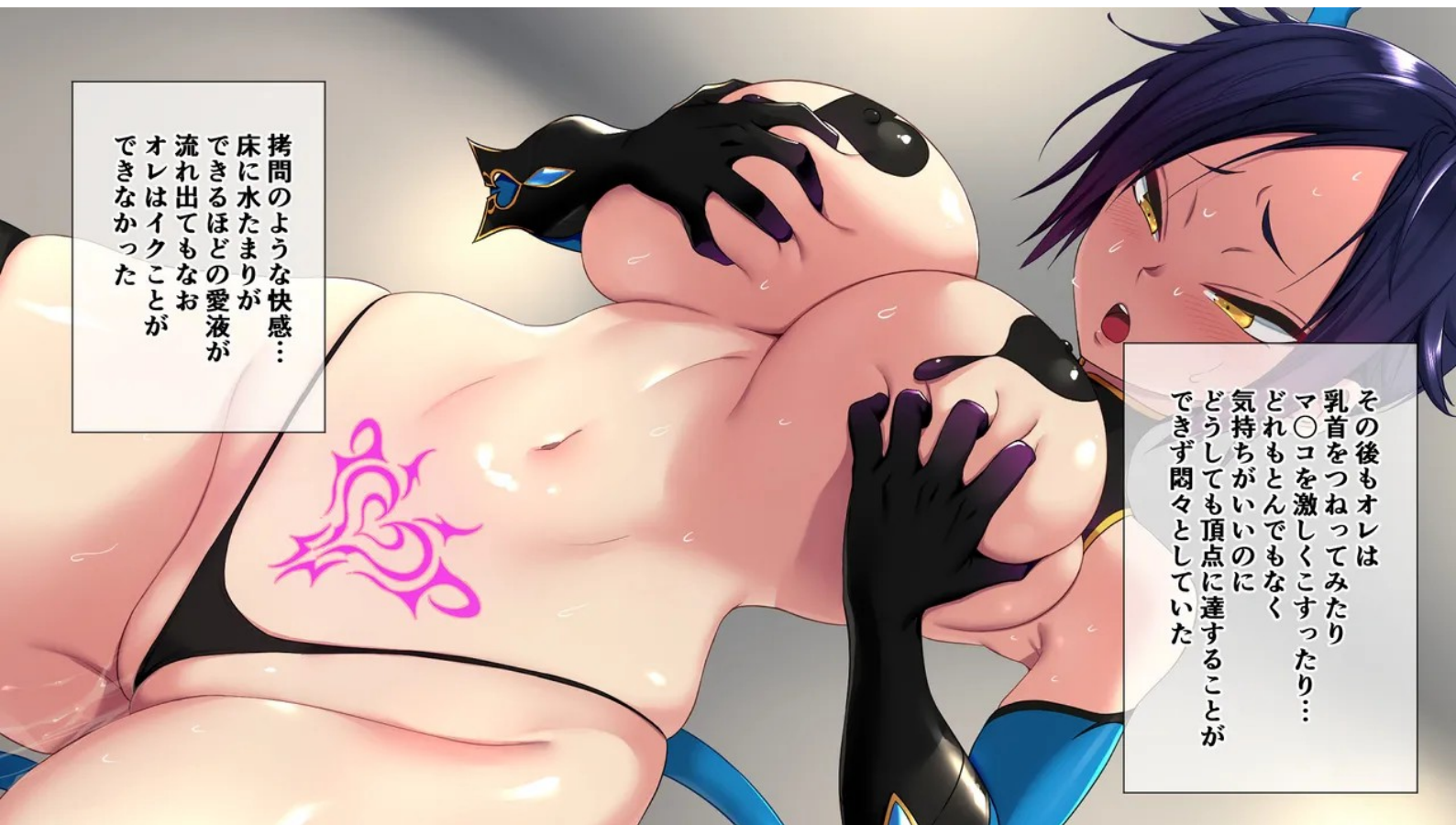
あん♡

んっ♡

んん♡

じゅ♡
ちゅ♡

じゅ♡
ちゅ♡
しゅ♡
ちゅ♡



拷問のような快感…
床に水たまりが
できるほどの愛液が
流れ出てもなお
オレはイクことが
できなかった

その後もオレは
乳首をつねってみたり
マ○コを激しくこすったり…
どれもとんでもなく
気持ちがいいのに
どうしても頂点に達することが
できず悶々としていた



頭…おかしく
なりゆっ…
オレ…一体…
どうなるんだ…!?
誰か…っ

なんで…
なんでイケないんだよっ
クソっ…もうちょっと…
なの…

はっ

はっ

せえ
はっ

せえ

はっ

せえ



そのとき
トイレの外
男子寮の廊下を歩く
微かな足音が耳に入った

や…やばい！
誰か来る…っ!?

カッン…
カッン…

巡回の教師か
それとも偶然トイレに
起きた誰かか…

どちらにせよ
こんなところを
見られるわけには
いかなかった


オレは大慌てで
スマホを拾い上げ
一目散に自分の部屋へ
逃げ帰った

あとで気づいたことだが
この時のオレの体は
ウツミみたいに軽く


まるで飛ぶように
足音ひとつ立てずに
廊下を走り抜けた

寮室に戻ったオレは
ルームメイトに
気づかれぬよう
こっそり自分の
ベッドにもぐりこみ

未だサキュバスの
ままの体を
持て余していた



そしてオレは
「自分が何になったのか」
思い知ることになる




なんとか
誰にもバレずに
戻ってこれたけど…

これから
どうすりゃ
いいんだ……？

……にしても
おっぱいって
重いな……
ちよっと息苦しい

普段見慣れた
ベッドの上だからか
余計にヘンな感じだぜ……
たまんねえ……



この寮室は二人部屋で
狭い室内に
粗末なベッドがふたつに
小さな勉強机がふたつ

あとは小さな窓が
ひとつついただけの
シンプルさで
一言で言うなら
収容所だ

しんと
静まり返った室内に
時計の音と
微かな寝息だけが
聞こえている

ルームメイトは
しっかり眠っている
ようだった

はあ…はあ…
模様の光は
いつの間にか
消えてるけど…

体はずっと
火照った
まんまだ…

むしろ
さっきより
強く…奥底から
疼くみたい…!
うらうらう…

ドキ

ドキ

ドキ

だ…ダメだって…
正気か？オレ…！！
ここでしたら…
絶対バレる…

こんな…とこ
見られたら…
どうなるか…
はあ…はあ…

なんとか
落ち着いて…
元に戻る方法を
探さなきゃ…！！

んっ…
んんっ…
♡

もみ

もみ

もみ

はあ…はあ…
頭では…
わかってるのに…
きもちよくて…
止められない…

体が勝手に
動いちゃう…
これが悪いんだ…
こんなのが…
ついてたら…

こんなおっぱい
目の前にあったら
男がガマンできる
ワケねえだろ…っ!

ああ…すげえ…
こんなに激しく
形が変わって…
手に吸い付いてきて…
エロすぎるう…

もにゃ

もにゃ

もみゃ



ん…くう…
んっ…♡
声…出ちゃ…♡
あっ……ん…♡

さっきみたいに
激しく
できないから
余計にもどかしい…

まさか
イかないと
元に戻れないとか
ないよな…?!

もぞ

もぞ

もぞ



いつもだったら
とっくにシヨって
寝てるのに……!!

なんなんだ
この物足りない…
切ない感じ……!!

どうして…
こんな目に…
イケないのって
こんなに苦しいのか

はあ…はあ…
イキたい…
イキたい…
イキたい…

ギン

ギン

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ



もうちょっと...
入りそ...
結構...深いんだな

指...もっと
奥まで
入れてみるか...?

ちょっと
コワイけど...

はぁ

はぁ

はぁ

ギン

しゅ

しゅ

しゅ

ギン



入っ……たあ♥
ぐちゅぐちゅの
マ○コが指
締め付けてるう♥

この感覚……♥
今までで一番……
チ○ポシユるのなんて
メじゃないくらい……
やばいやばいやばい
やばい……♥

これが女の……
サキユバスの
カラダなのか……!?

キゅん

キゅん

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ





足りない…まだ…っ
もっと奥まで
入ればイケそう
なのに…っ
なにか…他に…

なんでもイイ…
気持ちよければ
なんでもいいから…

もっとスゴいの
プチ込んで
くれえええええ
♡♡

ビーン

ちゅ

ちゅ

ちゅ

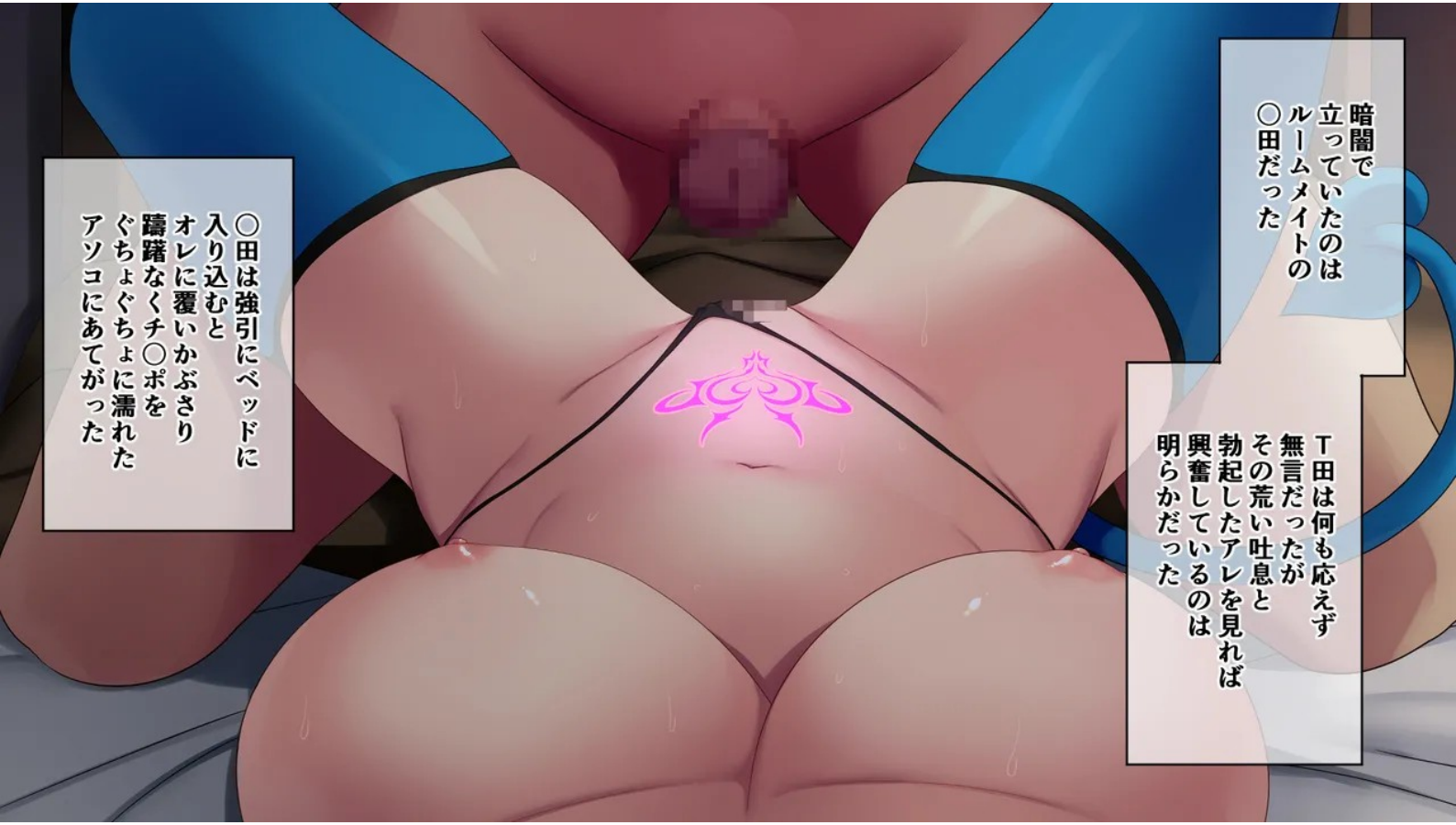




な...あ...いや
これは...違くて...
オ...オレだよ

サキハラだよ
わ...わかるだろ？
信じられないと思うけど
これにはワケがあつて
まずは話を...

てかお前
なんで
服脱いで...??



暗闇で
立っていたのは
ルームメイトの
○田だった

○田は何も応えず
無言だったが
その荒い吐息と
勃起したアレを見れば
興奮しているのは
明らかだった

○田は強引にベッドに
入り込むと
オレに覆いかぶさり
躊躇なく○ポを
ぐちょぐちょに濡れた
アソコにあてがった

ちよつと…
待っ…
お前まさか…

オオレだつてば!
サキハラ!
男なんだよ!
だから……っ

や…やめ…
やめろおおお!!!

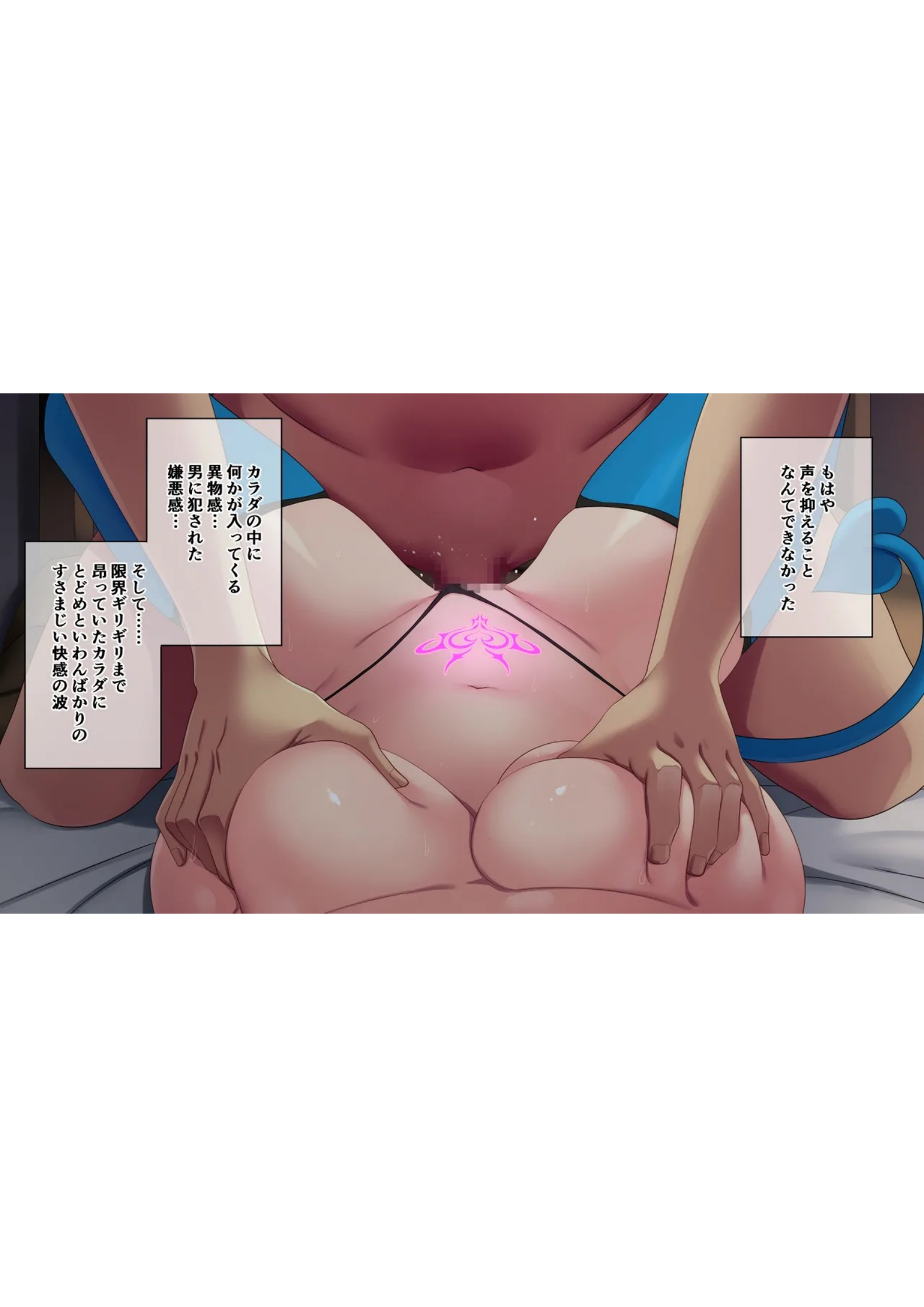




おは♥

おはようございます♥♥

ズン
ズン



もはや
声を抑えること
なんてできなかった

カラダの中に
何かが入ってくる
異物感…
男に犯された
嫌悪感…

そして……
限界ギリギリまで
昂っていたカラダに
とどめといわんばかりの
すさまじい快感の波

オレは
このカラダに
なっではじめて

メスイキ
絶頂した

イっぐうう♥♥♥
イぐいぐイぐいぐ

ハハハ

ハハハ
ハハハ
ハハハ
ハハハ

ハハハ



おおんっ♡

おおんっ♡

おおんっ♡

おおんっ♡



イってるっ…♥
ずっとイってるう♥
おマ○コこすられて
イキっぱなしに
なってるううう♥

オレ…オレえ
犯されてるのにい♥
はじめてのセックスが…
男と…なんて…っ
イヤな…ハズなのにい♥

気持ちイイの
止まらないいい
いい♥♥♥





おほおほ
ナカで♡
ナカで膨らんで♡
気持ちイイとこ
エグられてるう♡

?!...これ
まさか...出るのか!?
ナカに...出すのか!?

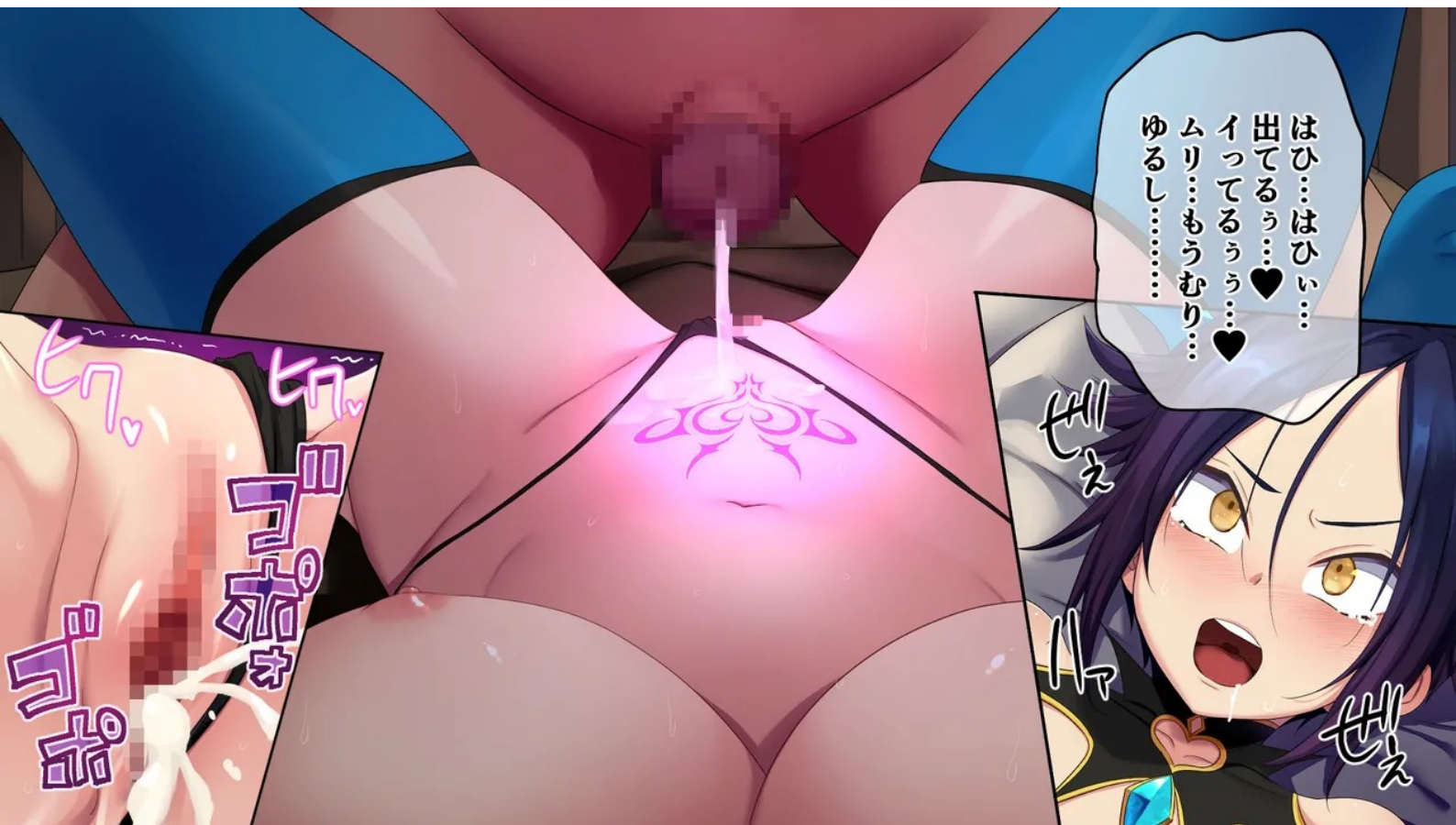
おほおおおお♡
ナカが勝手に
チ○ポぐいぐい
締めつけてるう♡

わかる……♡
おマ○コが
欲しがつてるのが
わかるうう♡

欲し♡ほ♡♡♡
出せ♡はやく♡♡
出せ出せ出せええ♡

精子！ザーメン！
おチ○ポ汁う！
ナカ出ししろおお♡





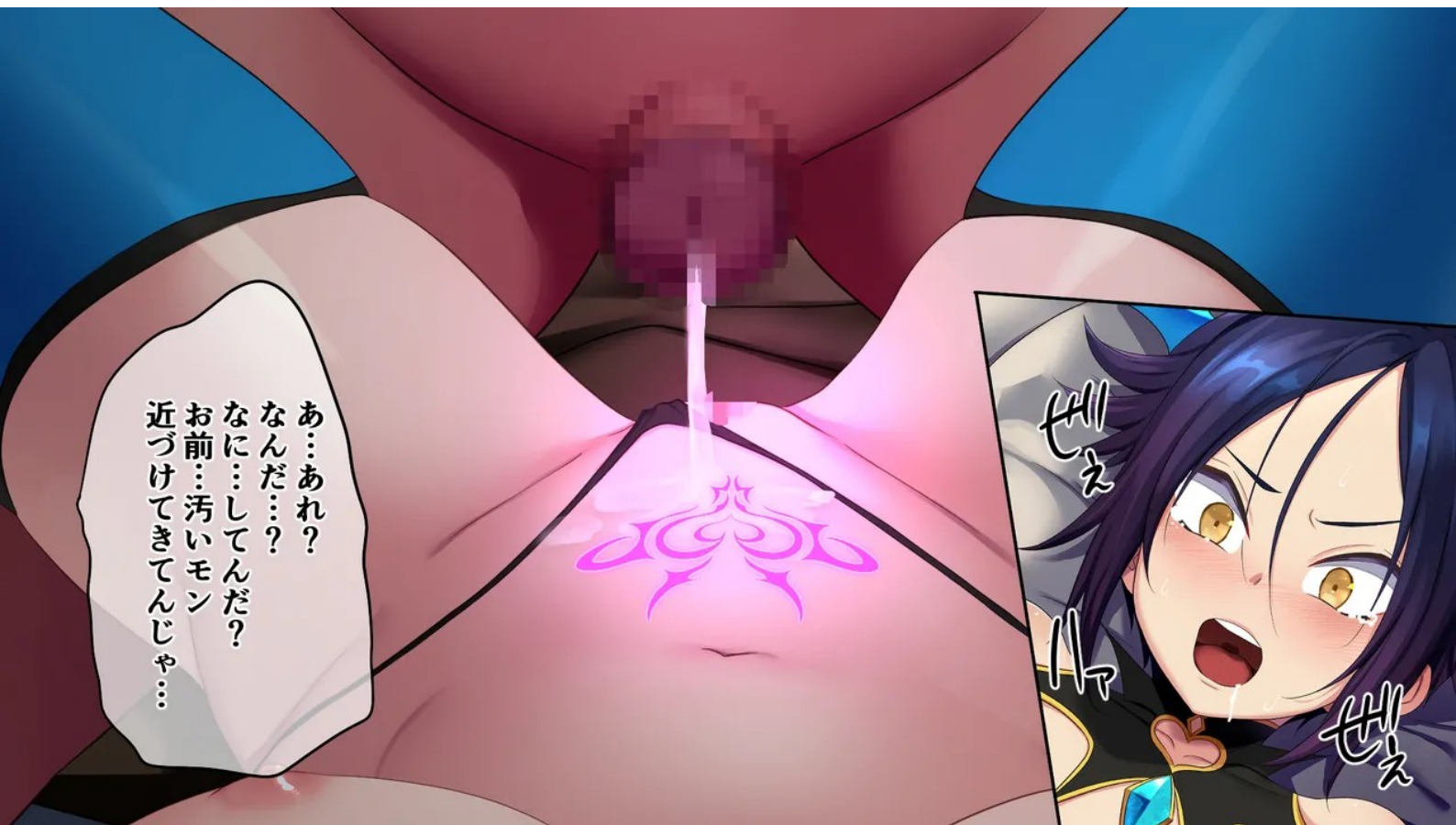
はひ...はひい...
出てるう...♥
イってるうう...♥
ムリ...もうむり...
ゆるし.....

ヒッ♡ ヒッ♡
ゴッ
ゴッ

せえ

ハア

せえ




あ…あれ？
なんだ…？
なに…してんだ？
お前…汚いモン
近づけてきてんじゃ…

せえ


ハア

せえ




ち…違う…!!
オレが…
オレの方から
近よってる…!!?

体が…勝手に…
なんで口開けてんだ
まさか…まさか…!!



お：おいっ
○田！
お前いい加減に……！
おかしいと思えよ
こんな状況……！

いくら
たまってても
限度ってもんが……
………!?
○田……？お前……




暗闇に目が
慣れたからか
○田の顔がはっきり
見て取れた

その顔は
普通ではなかった
視線は虚空を彷徨い
よだれを垂れ流しながら

チ○ボだけは
あんなに射精したとは
思えないくらい
勃起させている…

これはまるで…
なにかに操られて
いるような…



そして
それはおそらく…
オレ自身も……

気づくのが…
遅すぎた…!!

サキュバスは…
精を…糧とする…



は

サキユバスに…
操られてるんだ…!
カラダも…
ココロも…!!

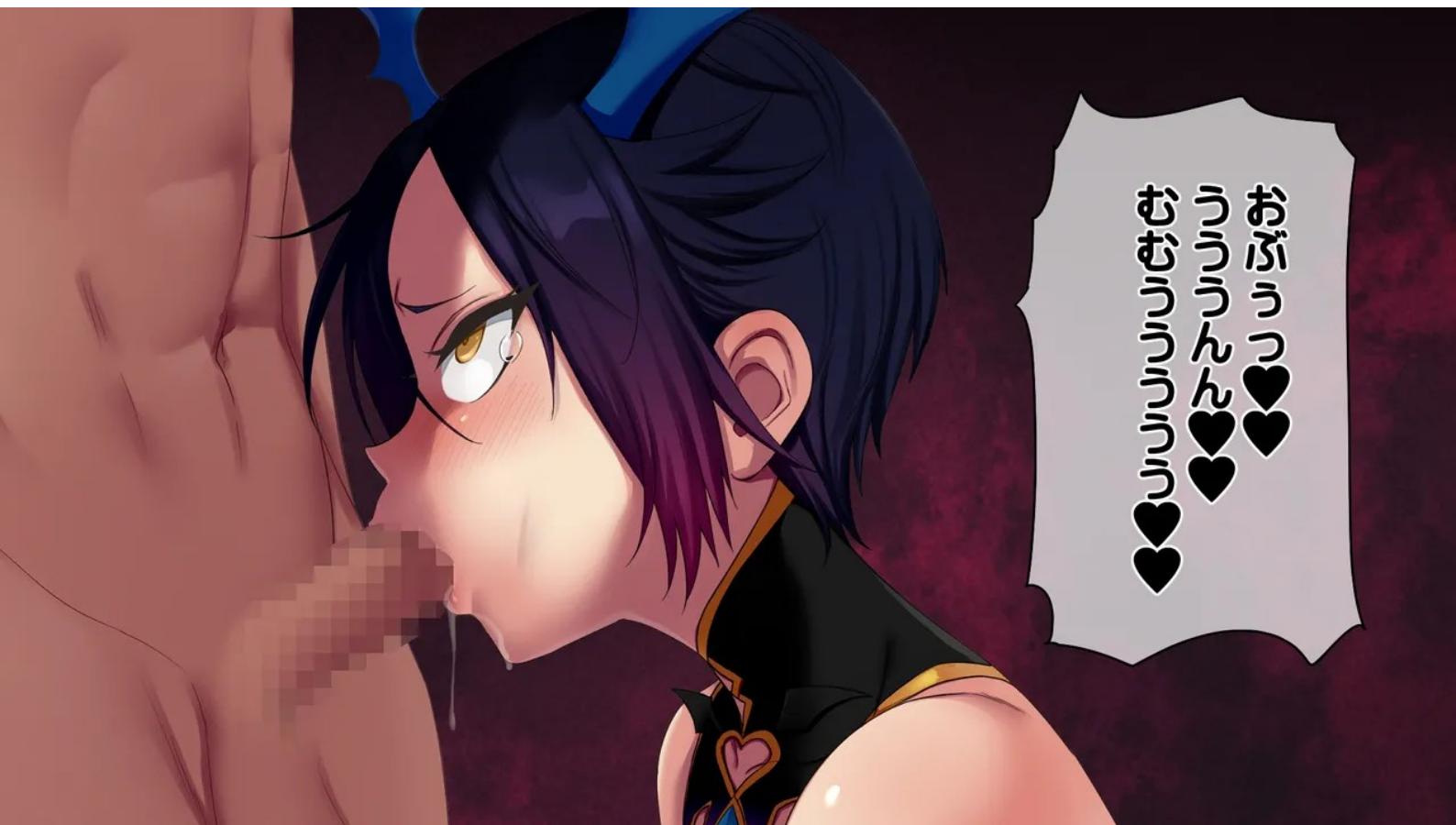
は

は

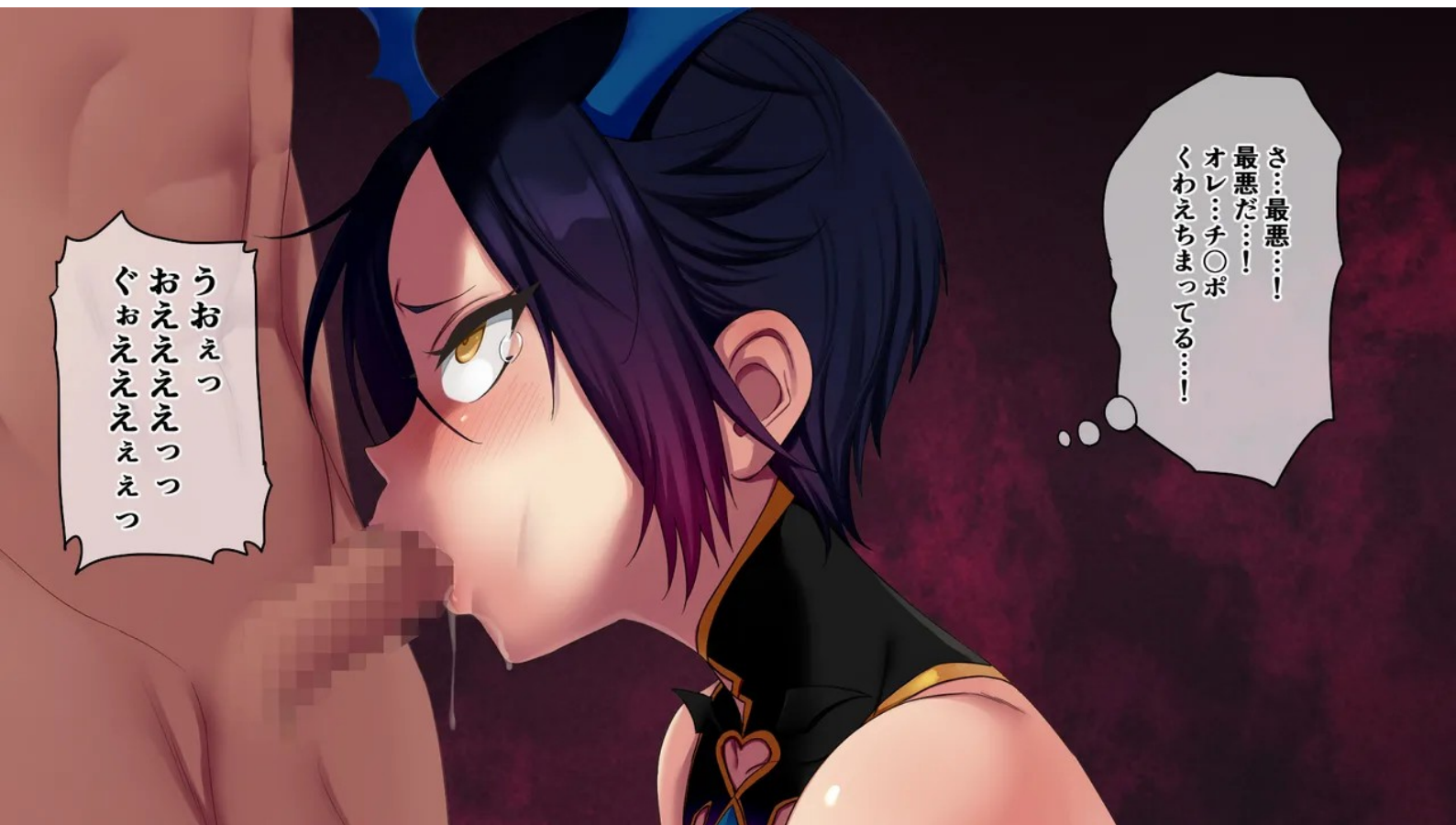
は

でなきやオレが…
こんなこと
するワケ…!!

おマ○コだけじゃなく
舌でもザーメン
味わいたいなんて
思うわけ……!!



おぶうっ♡♡
うううん♡♡♡
むむっ♡♡♡♡♡



うおえっ
おええええっつ
ぐおえええええっ

さ...最悪...!
最悪だ...!
オレ...チ○ポ
くわえちまってる...!

さっきまでの
セックスは
自分の感覚じゃない
というか
どこか非現実感が
あった

だけど今
オレの口内にひろがる
生ぬるい感触と
最悪な味は
男の時の感覚と
なんら変わらない

猛烈な
嘔吐感と嫌悪感に
襲われるが
オレの意志とは
無関係に

オレのカラダは
ベッドに○田を座らせ
奉仕するように
その股間にしゃぶり
ついていた

じゅぽ

じゅぽ

んんん

んんん

やめろ…
やめてくれ…!
チ○ポなんか
しゃぶりたく
ないのに…

舌が勝手に
チ○ポにからみ
ついて…

チ○コの形まで
ハッキリ
わかつちまう…!



てか こいつ
こんなにチ○ポ
でかかったか？

オレだって
小さい方じゃ
なかったけど
こんなバキバキで…
カリが高くて…

舐めてるだけで
マ○コに響く
エロチ○ポだった
なんて…

い
しゃぼ
い
しゃぼ

い
しゃぼ
い
しゃぼ
い
しゃぼ
い
しゃぼ



……!?
バカかオレは
何考えて……!

普通に考えたら
こんなサイズ
ありえないだろ
やっぱりこれも
サキュバスの影響……

喉の奥まで
犯されちまってる……
はぁ……はぁ……むぐ……
んむっ……♡

い
ぼぼ

い
ぼぼ
い
ゆるるる

あああ…
だめだだめだ…!
さっきまでは
あんなにシても
イけなかったのに…

触ってすらないのに
マ○コがアクメ待機
してやがるううう

イクな…
イクなオレえ…っ!
チ○ポ味わい
ながらイクなんて
カンペキにヘンタイに
なっちまうう…

まぼ

いっ
しゃ

い
ゆる

じ
ゅ
ぶ

び
ん

び
ん



イクわけ…ない！
ありえない……！！
オレは…男…なんだ…！！
喉マ○コ思いつきり
犯されて…

ぷりっぷりのお…♥
特濃ザーメン
流し込まれたつてえ…

絶対…♥
イクわけ…
ねえ…だろ…♥
ほろ…ち…こ…み…
ほろ…ち…こ…み…
ほろ…ち…こ…み…
ほろ…ち…こ…み…

じゅぽん
じゅぽん
じゅぽん
じゅぽん
じゅぽん
じゅぽん



がが

がが



イッてるうう♡
イキまくって
るうう♡
マ○コに出し
されたみたいだ

モロモロ♡

モロモロ♡

モロモロ♡
モロモロ♡
モロモロ♡

モロモロ♡
モロモロ♡
モロモロ♡

口で…舌で…
喉で感じてるうう♡♡
クソっ…お前…♡
美味いんだよお
ザーメン美味すぎるうう♡



ああ なんだよ…
もう終わりなのか…?
ん…奥にちよっと
残ってるな…
もったいない
最後の一滴まで全部
吸いださないと…

じい
ん
ちゅ
ぱ
ず
ず
ず
じ
る
る

ぷっ……はぁぁ♡♡

あ~~~~クっせえ♡
息まで精液臭く
なっちまった
ホントたまんねえ…♡

はぁ♡


はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

○田のヤツ…
二回目だつてのに
めちゃくちゃな量
射精しやがって…
しかもまだビンビンに
おつたつてやがる
同じ男として
ちよつと尊敬しちゃうぜ

……いや これも
きつとサキュバスの
力なんだろうな…
だつたらさあ…



『コレ』は
オレのスキにして
いいってえ
ことだよなあ…♡

うひひ…ひひ…♡
二回もオレを犯した罰…
いやゴホービだ♡
徹底的にしぼりつくして
やるよ♡



さあて♥
どこで絞って
やろうか...♥
おマ○コか
おクチか...

ってホントは
もうどうするか
決めてんだけどな♥

さっきから
『コッチの穴』が
うずいてうずいて
しょうがねえ♥



ひひ…ひ♡
わかってんだ
『ココ』に入れたら
ぜってえヤバイって…♡

男のプライド
ずたずたになって
もう後戻り
できないくらい
メス堕ちするって…♡

でもさあ…
オレ…

もう
ケツ穴アクメ
ガマンできねえ♡



んっほおおお
おおおお♡♡♡

はぁあ
あ
あ

っ
っ
っ♡



おっ♡おおっ♡
きてるうう♡♡
入ってるうう♡♡
ガツチガチの
極太おチ○ポにい

とろとろのケツ穴
思いつきり拡げて
ほじわてるうう♡♡

ギョギョ

ギョギョ



んぎぎざい
いひいらい
♥♥♥♥♥

イムツ♥イムツ♥
もうイッてるうツ♥
ケツ穴犯されて
メスイキしてるうツ
♥♥♥♥♥

こんなイキ方
覚えちゃったら
もう射精じゃ
満足できなくなるっ
♥

おチ○ポ
啜えないと
イケなくなる
うううう♥

ギ
ギ

ギ
ギ



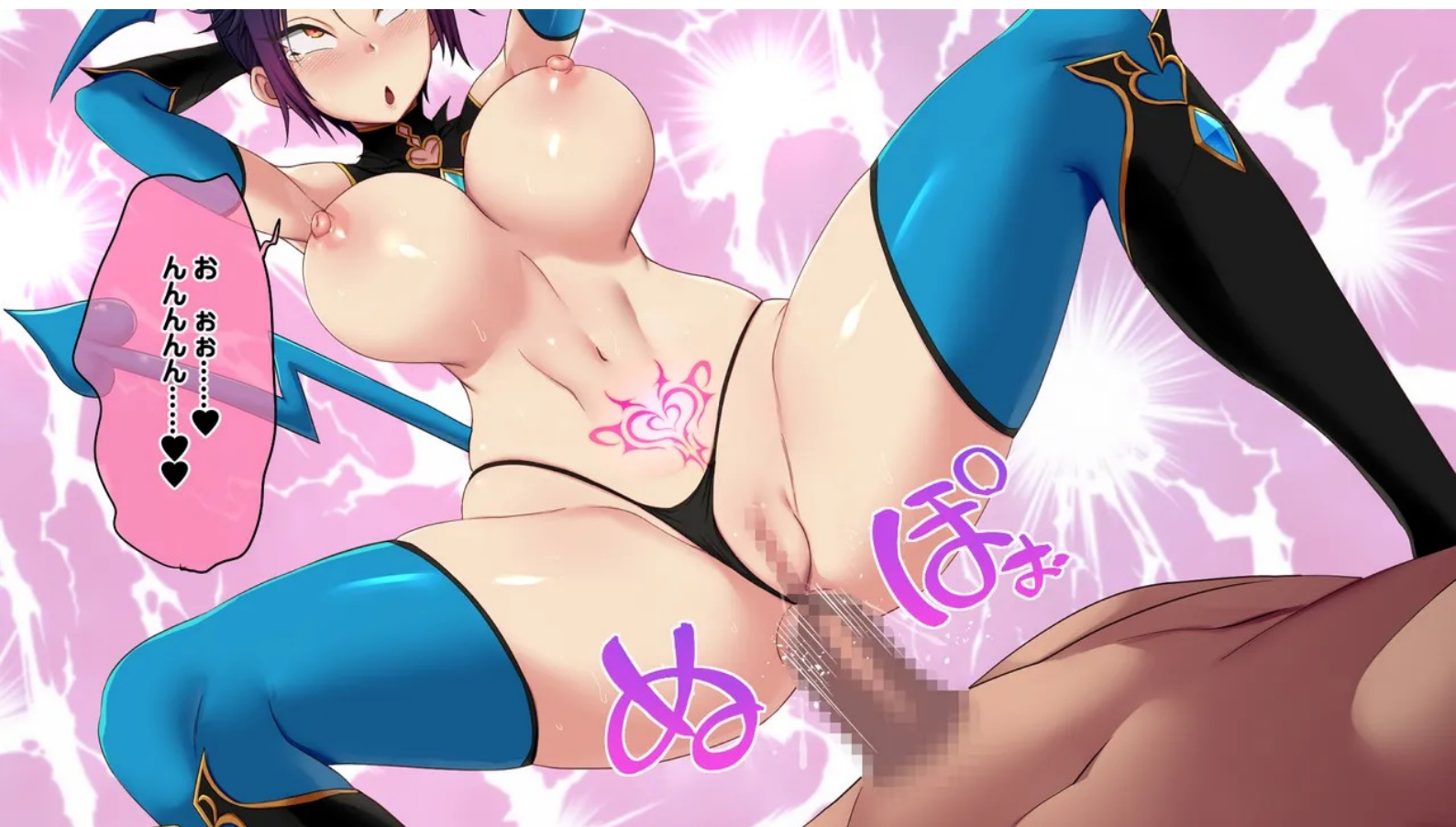
でも でお♡
サキユバスだから♡
サキユバスに
されちゃったからあ♡

しよーがない♡
チ○ポ好きになるの
しよーがない♡♡

チ○ポ♡チ○ポ♡
チ○ポ好き♡チ○ポ♡
チ○ポ♡チ○ポお♡

ギョッ

ギョッ



お おお……♡
ん ん ん ん……♡♡

ぬ

ぽぽ







おっぱいおっぱい♥

ふっふっ♥

ひんこ♥

おっぱい♥

おっぱい♥

おっぱい♥

おっぱい♥

おっぱい♥



あああああ♥♥
ケツが…灼ける♥
イグ♥♥♥
メスイキするう♥♥

イグの終わんないっ♥
ムリ♥もうムリ♥
これ以上イケないい♥
♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

びゅん

びゅん

びゅん



あ...ヤバい...
頭...真っ白に...
なって...
.....

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

びゅん

びゅうん

びゅうん

びゅうん

オレは
頭もカラダもとろけて
なくなっていく…
そんな幸福感に
包まれながら

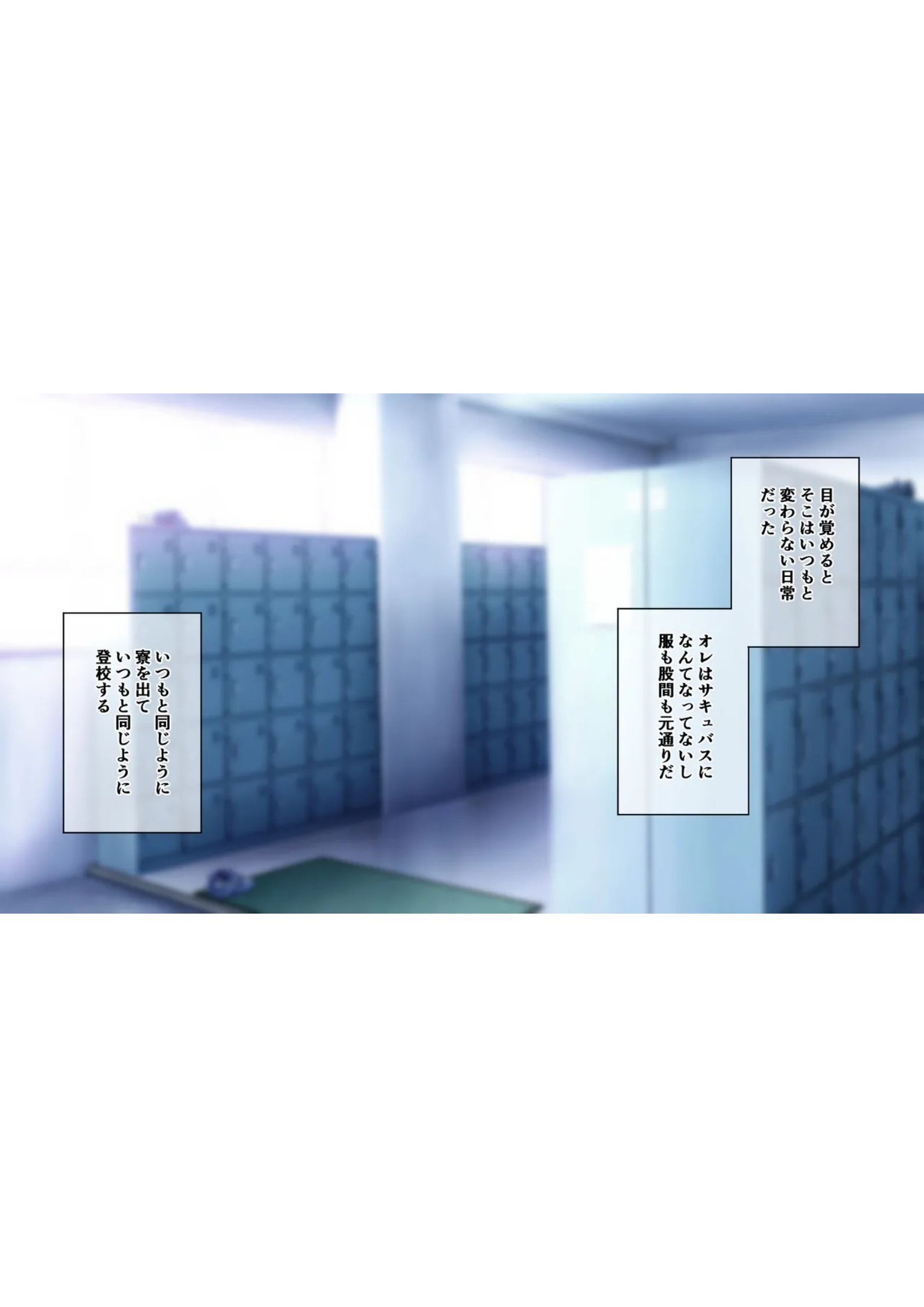
薄れていく意識の中で
誰かの声を聞いた
気がした

『私を求めなさい
私はいつでもそばにいる
お前がそれを望む限り……』



オレはその声に
向かって手を伸ばし…
そして……

意識を失った



目が覚めると
そこはいつもと
変わらない日常
だった

オレはサキュバスに
なんてなっていないし
服も股間も元通りだ

いつもと同じように
寮を出て
いつもと同じように
登校する

夢……
そうに決まってる

あんな事
おきるわけないし
オレがあんな事
口走るわけない

よく考えてみれば
あんなに叫んで
周りが気づかない
なんてありえんしな

それにしても
なんてひどい夢
だったんだろう
あー夢でよかった

○田のヤツも
なんかげっそりして
今日は休むとか言ってたが
風邪かなんかだろう
スマホに謎の録画データが
あったけど もう消したし

忘れよう
所詮 夢だ
あまりに溜まってる
からヘンな夢見るんだ

今日は帰ったら
お気に入りの動画で
死ぬほどシッコろう
そうしよう

あーホント
夢でよかった

オレは
自分のケツと
口に残る
生々しい感触を
拭い去るように


そう
自分に言い聞かせた

午後

いつも通りの
退屈な一日も
ようやく終わりが
見えてきた

そのころには
もう今朝の「夢」のことは
忘れかけていて
念仏のような授業に
あくびをかみ殺しながら

頭の中はどのエロ動画で
シロろうかということで
いっぱいになっていた



そして突然
それは起きた

ふああああ
ねみい~~~~~
はやく終わん
ねえかなあ……

ん……?
なんか……
妙にすーすー
するような……



なに〜?!

ゴァッ



こ…これはっ…
まさかまた…!!
な…なんで!!
オレ何もしてねえぞ!!

あっ…



なんだ……?
誰も反応してない……?

い……いや
ちがうんだ!
これはその……っ!

……?

オレがあれだけ
騒いだにもかかわらず
教室内は不気味に
静まり返っていた

誰ひとり
こちらを見ないばかりか
気にした様子すらない

いつも通りの
退屈な授業風景…

しかしよく見ると
周囲は皆
うつろな目で
心ここにあらず
といった感じだった



昨日の○田と
同じ……..
いや あれは
夢だったんだから…

また同じような
夢を見ちまってるって
ことか？

そーいや
すげえ眠かったもんな
そーだそーだ
夢に決まってる

しかし今日の夢は
またずいぶん
ぶっとんでんな



真っ昼間の教室で
こんな格好した
サキュバスが授業
受けてるなんて…

夢にしても
リアリティ
なさすぎないか？

それに…なんだ
周りの連中は…
まさか…

シユってやがる！
どいつもこいつも
勃起チ○ポ丸出しで
シゴいてやがる…！

バレてねえつもりか？
バレバレなんだよ
こんなエッロいオスの
匂い教室中に
充満させてればよお

オレだってシユりたくて
しょうがなかったのに
お前らばかり
気持ちよくなりやがって…
ズリいじゃねえか…♡





そうだ…
どうせ夢なんだ

夢なら…
なにしたって
いいよな

お前ら
退屈してんだろ？
溜まってんだろ？

この
クソみたいな授業

オレが
面白くして
やるぜ♥

ほま

ほま

ほま


ほま

シッコ
シッコ
シッコ
シッコ

シッコ

シッコ
シッコ

シッコ



オレは席を立ち
多少ビビりながらも
教卓の前まで
歩み出た

その間も生徒たちは
ぼんやりとした表情で
チ○ポを激しくシゴき
つづけている

教師がうつろな瞳で
板書している
すぐ後ろで

オレは尻を突き出し
腰を振りながら
誘うように言った

よーし
お前ら注目！
こっからは
オレの授業だ

よーく
見ておけよ
お前らどうせ女に
縁ないんだから

本物のマ●コ
見たことねーだろ
ほら：開いて
見せてやるよ♥





注目される
ってのも
案外悪くないな♪

くっくくく…
見てる見てる…♥
どいつもこいつも
あんなにチ●ポ
ガチガチにして…♥

普段
悪目立ちしてる
ヤツをバカに
してたけど…

ふり
ふり
ふり



背徳感と優越感
ゾクゾクとした
快感が背筋を
走った

教師が背を向け
授業を続ける中
クラスの連中は
オレをオカズに
自慰に耽る

生気のない しかし
欲望にまみれた視線が
一齐にオレのマ●コに
突き刺さるのを感じ



どうだあ？ホンモノの
とろとろおマ●コは♥
ハメてえだろ？
セックスしてえだろ？

どーしよっかな♥
お前らみたいな童貞に
オレを満足させられる
わけないしな〜

もしできたら
クラスの肉便器にでも
何でもなっってやるよ♥
ほらどうした？
怖気づいたか？ほら♥

んっ♥

んっ♥

ほちっ

ほち

ほち



おおんっ♡



こいつは…
○山か？
陸上部の…

この夢も二度目だ
一回目の衝撃に比べれば
慣れたもん…だぜw
そんな簡単にオレがイクと
思うじゃねえぞ♥

けど…これ…♥
運動部のピストン…っ
はげし…後ろから
犬みたいに…
こんなの………っ♥

あっ♥おふっ♥
あっ♥おふっ♥



やっべえ……♡
もうこれ交尾だろ♡
夢中で腰振りやがって
そんなにオレの
マ○コ気持ちいいか？

おっ♡おふう♡
どうした○山あ♡
ちよっと背高いからって
いつもオレを見下してる
クセにこっちの方は全然
だなあ♡

おらっ♡どうだ
この締め付けテク♡
もう限界だろ♡
さっさと射精しちまえ♡

ん？

おん





ほらっ つぎ!
はやくしろ!

やっぱ童貞だなw
こんなんじや
女を満足させられ
ねえぜ

ちよつと
いったけど...

な...なんだ
もう終わりかよ?
情けねえ



んむううう!?!
や やめ...れるお
ん ンちゅ♥
ん ンちゅ♥
んぶつ...んつ♥

!?!
...っ
まて お前ら
順番に...っ

ちゅ
ちゅ
ちゅ

いっ
いっ
いっ
いっ
いっ

気がつく
とクラスの連中
に周りを
取り囲まれて
いた

○田を除く
28名全員が
狭いスペース
に密集し
ほとんど身動
きできない程
だ

すぐに周囲の
温度は上昇し
濃厚なオスの
匂いとオレが
発するメスの
匂いが混ざり
合う

彼らの視線に
相変わらず
生気は無いが
チ●ポはもう
待ちきれない
と
いった感
じで

蜜に群がる
アリのよう
に
一斉にオレ
のカラダに
殺到した





てめっ…やめろっ…
いくら女に飢えてても
んちゅ…んぶっ…
男同士でキスするなんて
願い…下げなんだよ

んっ♡ちゅば♡
○井…っ
勝手に乳首…弄るな
ケツ…揉むなあっ
わかった…っ
わかったからっ…

このっ…このっ…
○村あ…っ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

いっしょ
いっしょ
いっしょ







まったく
次から次へと…♡
今度は○山と○埼か？

ガっつきすぎだろ
童貞どもがっ
おぶっ♡んぶっ♡
まあまだまだ
ヨユーだけどな♡

ヒトをオナホみたいに
使いやがって…♡
あんま調子に
乗っていると…んむう♡

んむう♡

んむう♡

ぬいぬい

ぬいぬい

んむう♡



んほおおおお



ぽんぽん
びび



あ…あれ？
おかしいな

オナホは…
お前らだろ？
オレがいくための
オレのチ●ポだろ？

なのになんで…
オレのほうか
もみくちやにされて
イカされまくってんの？

サキユバスが
童貞チ●ポに
負けるなんてこと…

あああああ
イグイグイぐうう♡

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ



や やべえ
こいつらとまらねえ…
ていうか数が多すぎる

全員相手してたら
こっちの身が
もたねえ
このままじゃオレ…

そ
そうだ!

ぬい
ぬい

ぬい
ぬい

ぬい
ぬい

お
お

お
お



へへへどーだ
動けねえだろ
いつまでも好き勝手
できると思ったら
大間違いだぜ

よ よおし…
いいだろう
お前らがそうくんなら
こっちにも考えがある
はあ…はあ…

はー

は

はー

はー



は

こ…これなら
オレのペースで
できるはず…

お次の
チ○ポは…つと♥
おお すげえ反り♥
こんなモンもう
凶器だろ♥
さっそく楽しませて
もら…

は

は

は

ちっ…コイツ
○宮じゃねーか
サッカー部の…



部活じゃエースで
成績も優秀
おまけに顔も性格も
いいときてる

噂じゃ他校のカノジョ
までいるっていうじゃ
ねーか

許せねえ…
なんてムカつく
ヤローだ…
全男子の敵だな

けどなア…
わかってるか?
今の状況



はー
今からテメえは
犯さんだよ
男のオレになぁw

男に犯されて
無様にザーメン
吐き出しちまえ♥

いい気味だぜ♥
徹底的に
搾りつくして

オレの方が
立場が上だってこと
教えてやる!

はー

はー

はー





んっ…♡くうっ…♡
はあ…はあ…
はっ…ま…まあまあ
やるじゃねえか
けどまだまだ
これからだぜ…

ちよつと
チ○ポデカいからって
いい気になるんじゃねえ
…んあ？こいつ…



このち○ポの味…
お前も童貞じゃ
ねえか

おやおやおや
○宮クン♥
もしかして
カノジョとはまだ
パコパコして
なかったのかな？

わかつちやうん
だよなあ
サキユバスだから♥

ちゅ

ちゅ



サキュバスの
極上キツキツマ○コ
味わったらもう
カノジョじゃ
満足できないかもなあ♡

んっ♡あふっ♡
あんっ♡
どうだっ?
男に童貞奪われた
気分は? んん?



おんっ♡
おんっ♡
おんっ♡

てめえの♡
チ○ポなんて♡
オレには♡全っ然♡
効か♡ねえぞ♡

どうだっ
この♡この♡

うそ♥フンお
このチ○ポ
しゃじいのおお♥♥

「じんの随する
おム○口随とす
神子○ポおおお♥♥

いやだ負けたくない！
こいつにだけは絶対
負けたくないのじこ♥♥

イク♥
このまま中出し
されたらム○口の
一番奥でアケメ
決めちやう♥
随とさわちやう♥

耐えろっ…!!
このままじゃ
昨日の夢と
一緒じゃないか!

イヤだ
またあんなふう
になるのは…っ
それだけはっ…

オレは…
男なんだ…!!
チ○ポなんか
負けない…!!

絶対にっ…

チ○ポに負けるのが
たまらなく
気持ちいいなんて…

たとえ夢でも
認めるわけには
いかないんだっ…!

勝つのは
オレだああああ!!!



んぎんぐんぐん
うううううう
♡♡♡♡

んんんん
うううううう
♡

とととと
びびびび
やっ♡
♡

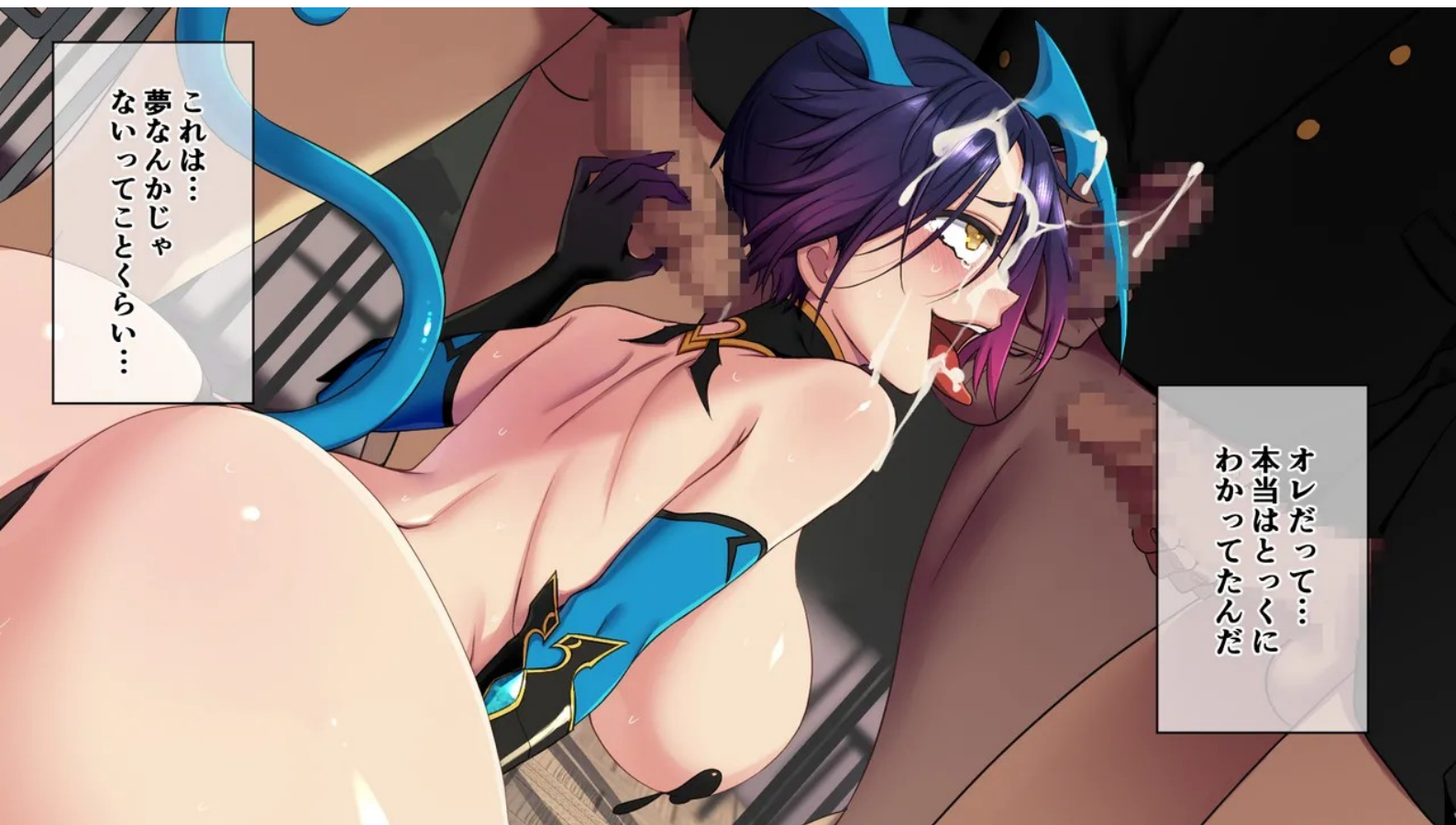
の
♡



ダメだったああ♥♥♥
やっぱムリいいいい♥♥♥
イグ♥イグ♥♥♥
めっちゃイッてるうう♥♥♥


ごめんなさいいっ
勝てないいい♥
何回やっても
チ○ポ勝てない♥
チ○ポ強すぎむうう♥♥♥

ヒクッ
ヒクッ
ヒクッ
ヒクッ



これは…
夢なんかじゃ
ないってことくらい…

オレだって…
本当はとっくに
わかってたんだ



これは夢だって
思いたかった

サキュバスに
操られてるだけだって
思いたかった

けど
わかってしまった

これは
オレの願望……

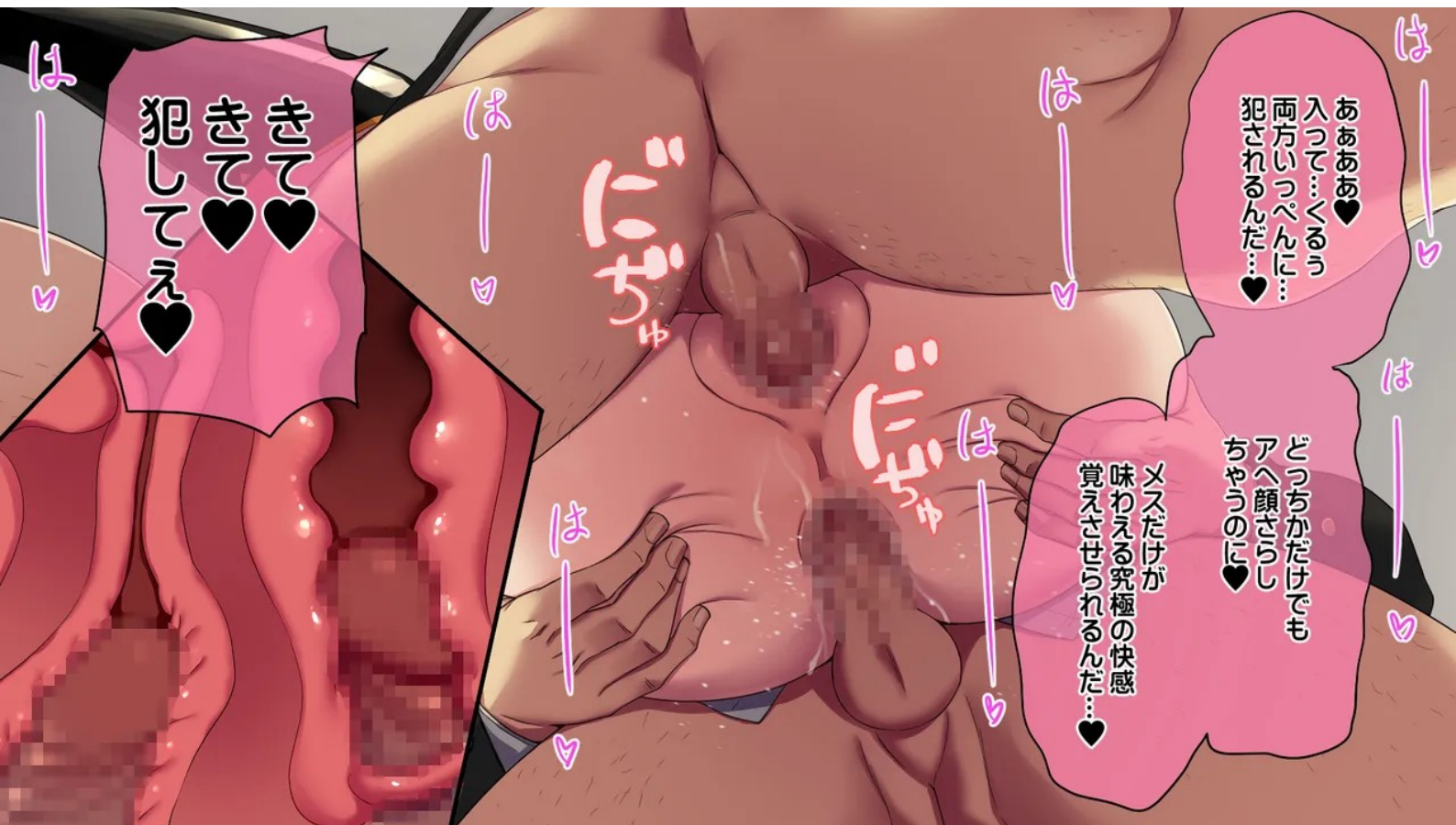
…もういいや
気持ち…いいから
めちやくちや
気持ちいいから

チ○ポに負けて
ケツ振りながら
メスイキするの
最高だから

メスになろう
メスになりたい

オレの中に
わずかに残っていた
男としてのプライドは

ガラガラと
音を立て崩れ去った



あぁああ♥
入って…くるう
両方いっぺんに…
犯されるんだ…♥

どっちかだけでも
アへ顔さらし
ちやうのに♥

メスだけが
味わえる究極の快感
覚えさせられるんだ…♥

きて
きて♥
きて♥
犯してえ♥

びぢゅ

びぢゅ

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は



きたああああ
ああああ♥♥

イグうううう♥
もうイぐ♥
ダブルでイグのお♥

イグ
イグ
イグ
イグ



ごめんなさい♥
男なのに……
サキユバスなのに
おチ○ポに弱くて
ごめんなさい♥

チ○ポ気持ちいいのお♥
チ○ポ逆らえない♥
おチ○ポ入れて
ズポズポしてくれるなら
なんでもしますう♥

ポポポポ
ポポポポ
ポポポポ
ポポポポ







チ○ポオ♥

いんっ♥

もっとな♥

チ○ポ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ



チ○ポオ♥

いん♡

もっ♡

チ○ポ♥

トクハ

トクハ

トクハ

トクハ

トクハ

おっ♡おっ♡
おっ♡おっ♡
おっ♡おっ♡

どろどろ
どろどろ

おっ♡おっ♡
おっ♡おっ♡
おっ♡おっ♡

どろどろ
どろどろ
どろどろ

いっ♡いっ♡いっ♡
いっ♡いっ♡いっ♡
いっ♡いっ♡いっ♡

キーン♡
キーン♡
キーン♡



いつでも自由に
犯していいからあ♡
クラスの共有肉便器
になるからあ♡

もっとお♡
もっと使ってえ♡
オレのマ○コとケツ穴
オナホにしてえ♡

頼むよお♡
もっといっぱい
精液プチまけて
くれえええええ♡

ざ
ず
ず
ず
ず



また♥またきた
お手○ボきた
きたきたあく♥

んああ♥

お前らなんて
いいヤツらなんだ♥
こんな最高のクラス
だったなんて♥

あひんっ♥

トクッ

トクッ

トクッ

トクッ

あんっ♡

ああんっ♡

スケベサンド
二穴挿入しゆきいい♡
中でおチ○ポ
ゴリゴリゴリゴリ
コスれるのしゆきいい♡

ゴリゴリ

ゴリゴリ

ゴリゴリ

ゴリゴリ

んほお♡んおお♡
みんな見てくれえ♡
オレを見てくれえ♡
オレはマ○コモア○ルも
クチもおっぱいも

乱暴に犯されて
悦ぶドヘンタイ
精液便所ですう♡



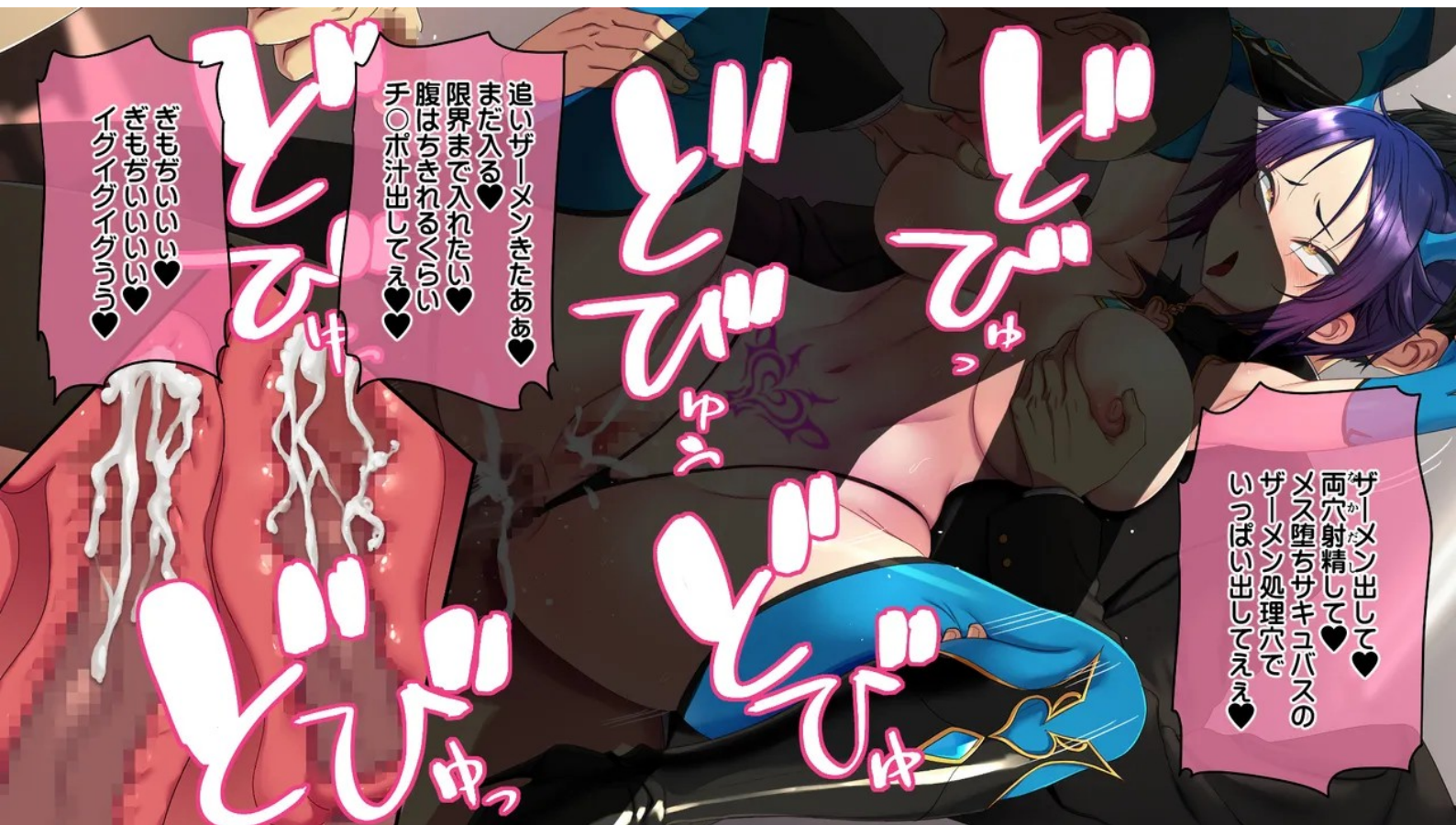
ザイメン出して♡
両穴射精して♡
メス堕ちサキユバスの
ザイメン処理穴で
いっぱい出してええ♡

追いザイメンきたああ♡
まだ入る♡
限界まで入れたい♡
腹はちぎれるくらい
チ○ポ汁出してえ♡

ぎもぢいいい♡
ぎもぢいいい♡
イグイグイグうう♡

どろどろ
びゅ
どろどろ
びゅ
どろどろ
びゅ

どろどろ
びゅ





ほひ♡
ほひいいいい♡
もう入んない♡
何十回も中出しされて
もうパンパンなお♡

たろ

たろ

あひ♡
ひん♡

あひ♡

あひ♡

まって♡待つでえ♡
今チ○ホ抜かれたら
全部出ちゃう♡
ため込んだザーメン
全部一気に吐き出しちゃう♡

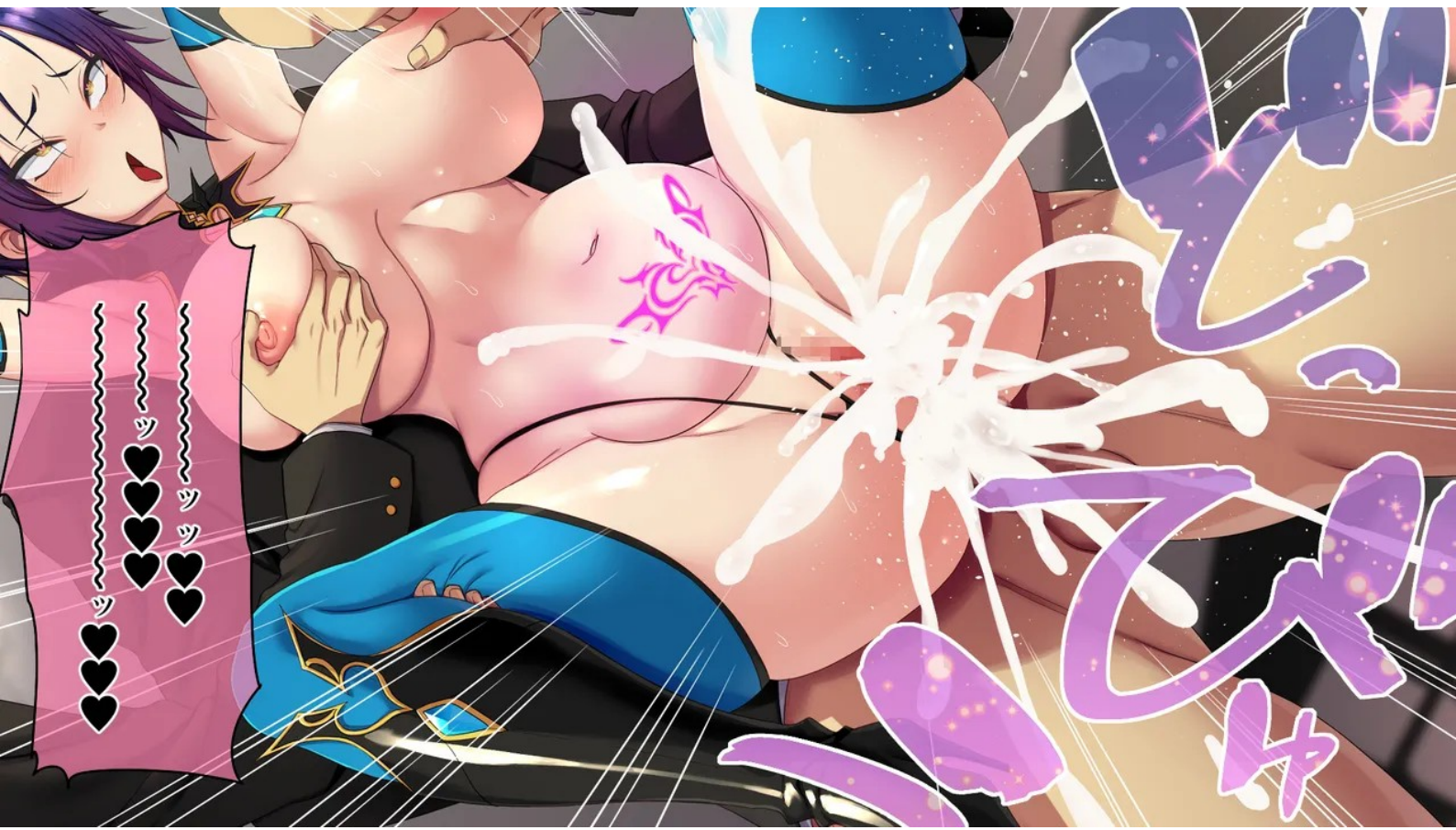


そんなの絶対
ヤバイやつ♥
射精の百倍気持ちいい
やつ♥♥♥

たぶ
たぶ

見てろ♥お前も
見てろよ♥
出すからな♥

マ○コとア○ルから
精液思いつきり
ヒリ出しながら
メスイキする
オレを見てろおお♥





ああ♥
もったいない♥
もったいない♥
じゅん♥じゅん♥
じゅん♥

ちゅぽっ♥
ざーめん♥ざーめん♥
ざーめん飲み放題
うますぎるうう♥

すん♥すん♥
ぴちゅ♥
ぴちゅ♥

ぴちゅ♥

じゅん♥

ちゅぽっ♥

しゅ♥
しゅ♥
ぴちゅ♥



オレはわき目もふらず
床に這いつくばり
プチまけられた
精液を丁寧
舐めとった

舐めとりながらも
指ですくい上げ
体に塗りたくり
床に全身をこすりつけ
ながら そのどろどろ
とした感触を楽しむ



むせかえるような
オスの匂いを
全身にすりこんでいく
そこにはもう男として
いや人としての尊厳すら
感じられない

だけど
たまらなく
心地よかった

ただ精液を求める
淫らでいやしい獣...♡
精液排泄のための肉便器♡
オレは それになった



残された
わずかな精液を
搾りだすように
生徒たちがその手を
はげしく動かす

その顔を見れば
もう限界を超えている
ことは明白だ
それでもその手は
休まることなく
最後の一滴まで精液を
吐き出しつづけた











あゝ...さすがに
もう飲めねえ...
カラダもクタクタだ...
けど...すっげえ...

しあわせえ.....♡

キーン

それから
しばらくして

授業の終わりを
告げるチャイムが鳴り
何事もなかったように
教師が退室する

生徒たちは
いつものまにか
席に戻っており
オレもまた
男に戻っていた

しかし
全てが元通り…
というわけじゃない

カーン

コン

うわっ
なんか臭くね？
誰か授業中
シコっただろ
窓開ける！

だっりい…
なんでこんな
疲れてんだ…？

あれ…オレ寝てた？
つか今なんの授業
だったんだっけ

オレなんか
頭痛え…
部活休むわ…

すっげえエロい夢
見た気がすんだよなあ
覚えてねえけど
いやマジだつて

がが
がが

がが
がが

喧噪の中
オレは荷物をまとめて
一目散に寮へと戻った

もう 限界だった
よくよく考えれば
オレだけが
射精していない

オレは
ガチガチにチ○ポを
勃起させたまま
寮のトイレに駆け込み
誰もいないのを
確認する

ここはいつも
オレがシコるのに
使っている場所だ

はあ、

はあ、

はあ、

オレは必死でチ○ポを
コスリあげる
なかなかイケなかった
いや イキたくも
ならなかった

はあ、

はあ

さっきまでの
高揚感 恍惚感と
比べると こんなのは
子どもの遊びみたいに
感じる

はあ、

はあ

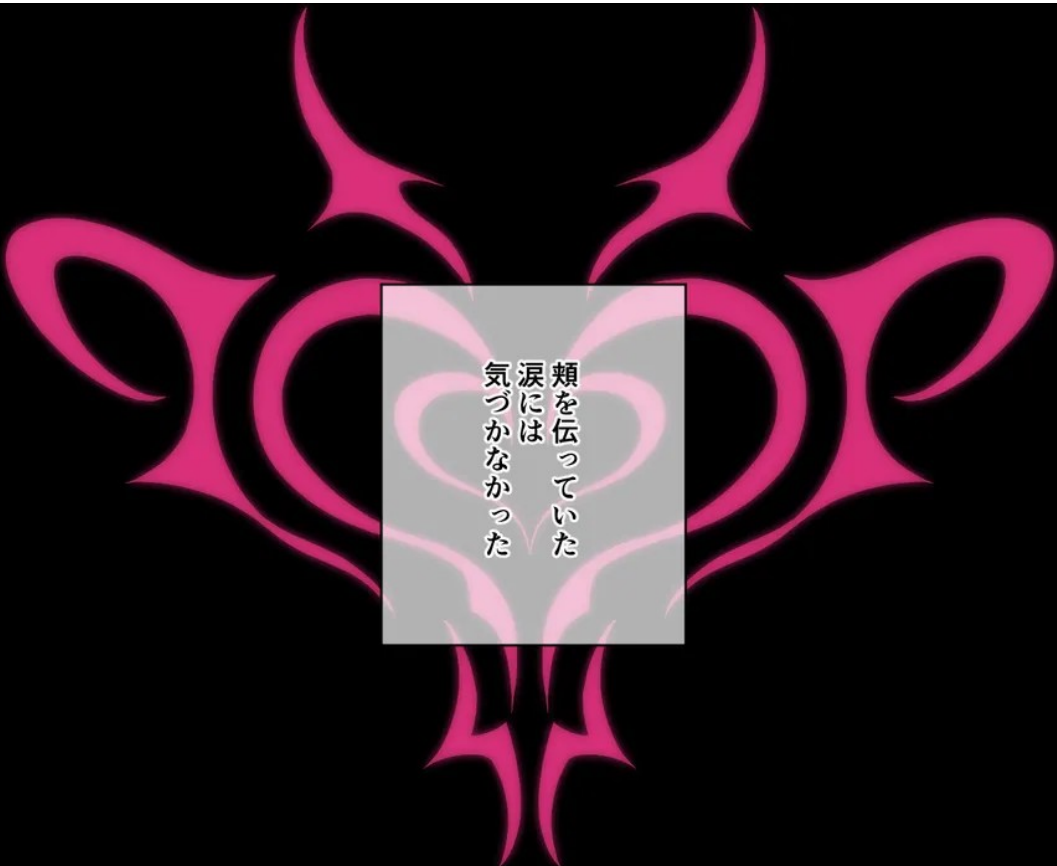
何度もオカズにしたはずの
お気に入りの動画にも
なんの魅力も
感じなくなっていた

けど…いいんだ

オレの下腹部には
淡く光る
サキュバスの模様が
しっかりと
刻みつけられている

オレはさっきまでの
自分を……
精液にまみれ喘いだ
感触を思い出しながら

三度
射精した



頬を伝っていた
涙には
気づかなかった

END



